

平成 30 年度

相模原市立博物館 年報



目 次	
I 相模原市立博物館概要	2
1 設立の経緯	
2 設置目的	
3 平成30年度生涯学習部組織目標	
4 博物館ネットワークの推進	
5 相模原市立博物館活動評価書	
II 管理運営	7
1 組織と事務分掌	
2 博物館協議会	(1) 趣旨 (2) 委員構成 (3) 活動状況
3 施設	(1) 施設概要 (2) 施設管理業務委託 (3) 消防訓練
4 予算	
III 教育普及	11
1 入館者数	(1) 30年度計 (2) 総計 (3) 詳細
2 企画展(特別展)	
3 講座・講演会・教室・観望会などの事業	
4 プラネタリウム・全天周映画	
5 情報サービスコーナー	
6 広報・出版等	
7 博物館学芸員実習	
8 学習利用	
9 博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用	
10 相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し	
11 インターンシップ	
12 博物館職員の講師依頼等	
13 JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」	
14 市民との協働	
IV 資料管理	38
1 博物館収蔵資料点数	
2 収集・整理	
3 有害生物管理の実施	(1) 受入れ資料のくん蒸 (2) 有害生物調査
4 資料の特別利用	
5 JAXA宇宙科学研究所からの借用物	
6 全国博物館連携協議会からの借用物	
V 調査研究	45
VI 市史・町史編さん	46
1 相模原市史・津久井町史	
VII 博物館所管施設	49
1 尾崎罌堂記念館	
2 吉野宿ふじや	
3 入館者数一覧	
VIII 博物館略年表	52

付録

相模原市立博物館条例

相模原市立博物館条例施行規則

相模原市立尾崎罌堂記念館条例

相模原市立尾崎罌堂記念館条例施行規則

相模原市吉野宿ふじや管理規程

I 相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和 53 年 12 月、郷土懇話会や文化協会ほか 8 団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係 6 団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために＝地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和 55 年、市の「キャンプ淵野辺留保地整備計画」の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和 56 年 4 月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に 6 か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。相模原市の公共施設として、初めてプロポーザル方式で設計者を選定し、平成 5 年に着工した。

平成 7 年 11 月 20 日（市制記念日）に開館。開館後は 1 階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

総入館者数は、平成 16 年 1 月に 100 万人を超え、平成 23 年 8 月に 200 万人、平成 31 年 3 月に 300 万人を超えるなど、毎年、多くの来館者を迎えている。また、多くの市民の会による活動など、近年はボランティアによる活動も盛んになっている。さらに、学校へ出張授業や、土器や昔の道具等「貸出しキット」の活用、市内のすべての小学校が年に一回は来館するなど、学校への支援・連携も積極的に実施している。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根 3 丁目 1 番 15 号に設置する。（市立博物館条例第 2 条）

当館の特徴…自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（平成 7 年 11 月 20 日神奈川第 32 号）

3 平成 30 年度 生涯学習部組織目標

市民が生涯にわたり学び続け、いきいきと暮らす生涯学習社会を創造します。

そのため、「新・相模原市総合計画」をはじめ、「相模原市教育振興計画」、「相模原市スポーツ

振興計画」、「相模原市図書館基本計画」等に基づき、生涯学習分野においては、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現に向け、平成 30 年度の「生涯学習部」の組織目標を次のとおり定めます。

＜重点目標＞

『誰もが生涯にわたり学び続けられるような環境の充実』

『家族や郷土を愛し、心豊かに暮らす地域社会の形成への寄与』

＜重点項目＞

- 1 市民の多様な学習ニーズに対応するため、公民館、生涯学習センター及び津久井生涯学習センターの事業の充実や施設の環境整備を図る。
 - ・市民の高い学習意欲や社会的課題に対応した各種講座、事業等の実施
 - ・学習活動を通じた地域を担う人材の育成と仕組みづくりの促進
 - ・公民館の大規模改修事業をはじめとする施設の着実な整備と適切な維持管理の推進
 - ・公民館等の持続可能な施設運営を図るため、使用料の円滑な導入及び改定とより良い管理運営体制の検討
 - ・「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」の策定に向けた庁内調整や地域対応の推進
- 2 文化財の保存及び活用を計画的に進める。
 - ・産業経済活動と調和した埋蔵文化財の適切な調査、保存
 - ・郷土意識の更なる醸成に向けた文化財の普及、情報発信等によるシティセールスへの活用
- 3 「する」「観る」「支える」スポーツ環境の充実に取り組む。
 - ・利用者ニーズを踏まえたスポーツ施設の整備と適切な維持管理の推進
 - ・ホームタウンチームとの連携・支援をはじめとしたスポーツの振興
 - ・事前キャンプの受入れなど、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組の推進
- 4 図書資料等の提供を中心とした市民の知的活動の支援に一層取り組む。
 - ・自主的な学習を支えるための資料の充実と積極的な情報発信
 - ・地域関係機関との連携による図書館の利用促進
 - ・図書館（鹿沼台）の中央図書館としての再整備の推進
- 5 博物館は地域の歴史や文化、自然に関する資料の収集、保管、展示等を推進するとともに、資料の活用を通じ地域文化の継承・発信の拠点として事業を実施する。
 - ・市域全域の理解を深めるため、収蔵資料の更なる活用を通じた魅力ある展示の推進
 - ・関係機関や団体、学校等と連携した事業による、来館者の増加と学びの場の提供
 - ・JAXA等との連携による宇宙教育普及事業の充実
 - ・人にもモノにも優しい適切な維持管理の推進

平成 30 年度 博物館 重点目標

博物館は、生涯学習部の重点目標である『誰もが生涯にわたり学び続けられるような環境の充実』、『家族や郷土を愛し、心豊かに暮らす地域社会の形成への寄与』を実現する柱のひとつとなっています。

このため、博物館の使命である、地域の歴史や文化・自然に関する資料を調査研究し、また、収集した資料を適切に保存し蓄積するとともに、その活用を図りつつ地域文化を継承・発信する

拠点として事業を実施します。

また、主体的に参加する市民と協働し、あるいは地域の諸機関と連携する体制を整え、市民文化の向上に資する活動の積極的な展開に取り組み、ともに高めあい、さらなる相模原の魅力づくりを推進します。

- ・ 市域全域の理解を深めるため、収蔵資料のさらなる活用を通し、魅力ある展示に努めます。
- ・ 関係機関や団体、学校等と連携した事業の実施に取り組み、来館者の増加を図るとともに学びの場の提供に努めます。
- ・ J A X A 等との連携による宇宙教育普及事業の充実に取り組みます。
- ・ 市民ボランティア等の養成に取り組むとともに、協働による博物館活動の充実に努めます。
- ・ 博物館を広く周知するため、様々なメディアを積極的に活用した情報発信に努めます。
- ・ 人（来館者）にもモノ（収蔵品）にも優しい施設であるよう、適切な維持管理に努めます。

■ 重点施策（取り組むべき事業）

1 展示・教育普及事業の推進

- （１） 考古・歴史・民俗・生物・天文・地質等に関する企画展示、講演会等の実施
- （２） 市民ボランティアとの協働による展示内容の検討及びミニ展示の実施
- （３） J A X A との連携を重視した宇宙教育普及事業の実施
- （４） 天文分野に関するソフト事業の実施と継続的な施設改修の検討
- （５） 尾崎弔堂記念館、吉野宿ふじや情報発信事業の実施
- （６） 市民ボランティアの養成と自主活動の促進
- （７） 館内表示等の多言語化の推進

2 積極的な情報発信事業の推進

- （１） 広報さがみはら、ホームページに加え、ブログ・ツイッター等 S N S を活用した情報発信の実施
- （２） 機会を捉えた積極的な情報提供の実施

3 施設及び関連施設の維持管理

- （１） 計画的な施設維持管理の実施
- （２） 来館者の安全・安心を最優先した管理運営の実施

4 市史・町史編さん事業の推進

- （１） 相模原市史・津久井町史に係る講演会の開催

5 博物館評価の実施

- （１） より親しまれる博物館の実現を目指した博物館評価の実施

4 博物館ネットワークの推進

博物館所管施設の尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじやにおける地元団体への委託事業のほか、社会教育施設等における出張展示や普及・活用事業への学芸員の派遣など連携・協力・助言を行った。その結果、博物館をコア施設と捉え、社会教育施設全体をネットワークと考える多くの場所での学習機会の提供に寄与することができた。

ア 尾崎罌堂記念館展示・普及事業・・・尾崎罌堂生誕 160 年企画展、近現代史講演会など
3 事業、延べ 287 人

イ 吉野宿ふじや活性化事業・・・吾が心の山展、昔の産業展、甲州道中見どころ展、
おひな様展 4 事業 延べ 2,451 人

5 相模原市立博物館活動評価書（抜粋）

I 相模原市立博物館活動評価の総括

（評価期間：平成 26 年度～平成 28 年度）

○平成 20 年 6 月に「博物館法」が改正され、博物館の運営状況の評価やその情報の提供等を行うこととされた。このため当館では、当館の使命及び重点目標等に基づき、定量評価及び定性評価の手法で、博物館協議会委員による有識者評価を経て、平成 23 年度～25 年度評価に引き続き、第 2 回目となる平成 26 年度から平成 28 年度までの活動について点検・評価を行った。

【当館の使命】

- 地域の歴史や文化・自然に関する資料を調査研究し、また、収集した資料を適切に保存し蓄積するとともに、その活用を図りながら地域文化を継承・発信する拠点となること
- 主体的に参加した市民と協働し、あるいは地域の諸機関と広く連携していく体制を整え、市民文化の向上に資する活動を積極的に展開すること

【重点目標・評価項目】

- 1 常設展示のリニューアルと宇宙教育普及事業の推進
- 2 関連施設・機関との連携
- 3 市民との協働による博物館活動の展開
- 4 博物館の基礎的な機能を果たすために必要な活動

平成 26 年度～平成 28 年度における活動評価全体総括

○市民とともに歩む博物館として、引き続き、地域に根差した活動を活発に行っている点が有識者会議において評価された。

具体的には、JAXA と連携した多彩な宇宙教育普及事業の実施をはじめ、常設展示のリニューアルとして市民目線による展示の検討を継続的にしている点、小学校をはじめとする学校への学習支援や、公民館等の事業の実施に対しての連携、博物館を舞台とする各分野でのボランティアとの協働による活動の充実などである。

○一方、博物館でのイベント等は積極的に行っているが、入館者数は頭打ちの傾向が見られ、また、利用する年代層にやや偏りが見られるなど、市民にとって一層の魅力ある活動の展開や、事業の広範な周知方法についての指摘がなされた。

こうした評価を真摯に受け止め、今後とも改善を積み重ねながら、さらに地域文化を継承・発信する拠点としての博物館を目指して活動していく。

【定量評価】

- 定量評価は、事業評価シート（定量評価）のとおり、目標を上回る、あるいはそれに近い数値を達成している項目が多く、この点は評価されるが 28 年度には入館者が 5 % 減少となるなど、より魅力ある事業の展開や積極的な周知など、今後のさらなる充実が必要である。

課題として、上記の点に加え、定量的評価の数値の推移を館全体の活動内容に位置付けて分析することや、学芸員が館外で行った事業の参加数を加えるなど、多面的な方向からさらに定量評価を検討する必要がある。

【定性評価】

- 定性評価は、今回の評価書作成にあたり、直近の平成 28 年度の活動状況に対する評価を中心に記載しており、各項目については、以下のとおり総括した。

- 1 常設展示のリニューアルと宇宙教育普及事業では、「市民による常設展示の検討」「各種宇宙教育普及事業の展開」について評価を行った。

有識者意見からは、市民による常設展示の展示替えを目的とした検討会が結成され、市民目線による展示の検討が引き続き行われている点や、国際的にも知名度の高い機関である JAXA と連携した多彩な活動が、積極的に行われている点が評価された。

課題として、市民から提出されるさまざまな意見を適切に反映させ、さらに博物館への期待度を挙げることや、宇宙教育普及事業に参加した市民の評価を元に、をさらに JAXA との連携を発展させることが挙げられる。

- 2 関連施設・機関との連携では、「博物館ネットワーク計画の推進」「学校への学習支援」「公民館等との連携」について評価を行った。

有識者意見からは、津久井地域にある施設の利用者が市民協働による事業によって増加した点や、全体として小学校を中心とした授業等への支援が積極的行われ、そのほかにも、公民館等の事業実施に対しての協働が積極的になされている点が高く評価された。

課題として、津久井地域の施設の周知が未だ不十分であることや、今後ともさまざまな取り組みによる学習支援の展開、博物館職員以外の外部の研究者やボランティアとの連携による活動の展開について検討していく必要がある。

- 3 市民との協働による博物館活動の展開では、「市民の会の活動の展開」「市民学芸員の活動の展開」について評価を行った。

有識者意見からは、引き続き博物館に拠点を置く市民の会による活動が実施され、運営の軸の一つとなっている点や、特に市民学芸員による主体性を重視した活動のあり方が高く評価された。

課題として、会に参加する者が高齢化・固定化して人材の確保が難しくなっている点や、そうした博物館で活動する多くのボランティアの存在や活動を周知することがあり、さらに、さまざまな市民による活動内容の役割をこの機会に博物館側として整理することが必要である。

- 4 博物館の基礎的な機能を果たすために必要な活動では、「市民とともに実施する資料整理及び展示、調査成果の公表」について評価を行った。

有識者意見からは、市民の会を中心に数多くの資料採集や整理が市民協働によって行われ、また、市民による調査研究の成果が『研究報告』に掲載されていることが評価された。

課題として、こうした市民による資料整理の成果を蓄積して周知していくことや、さらに多くの市民が参加できるような調査を企画・実施していくことが挙げられる。

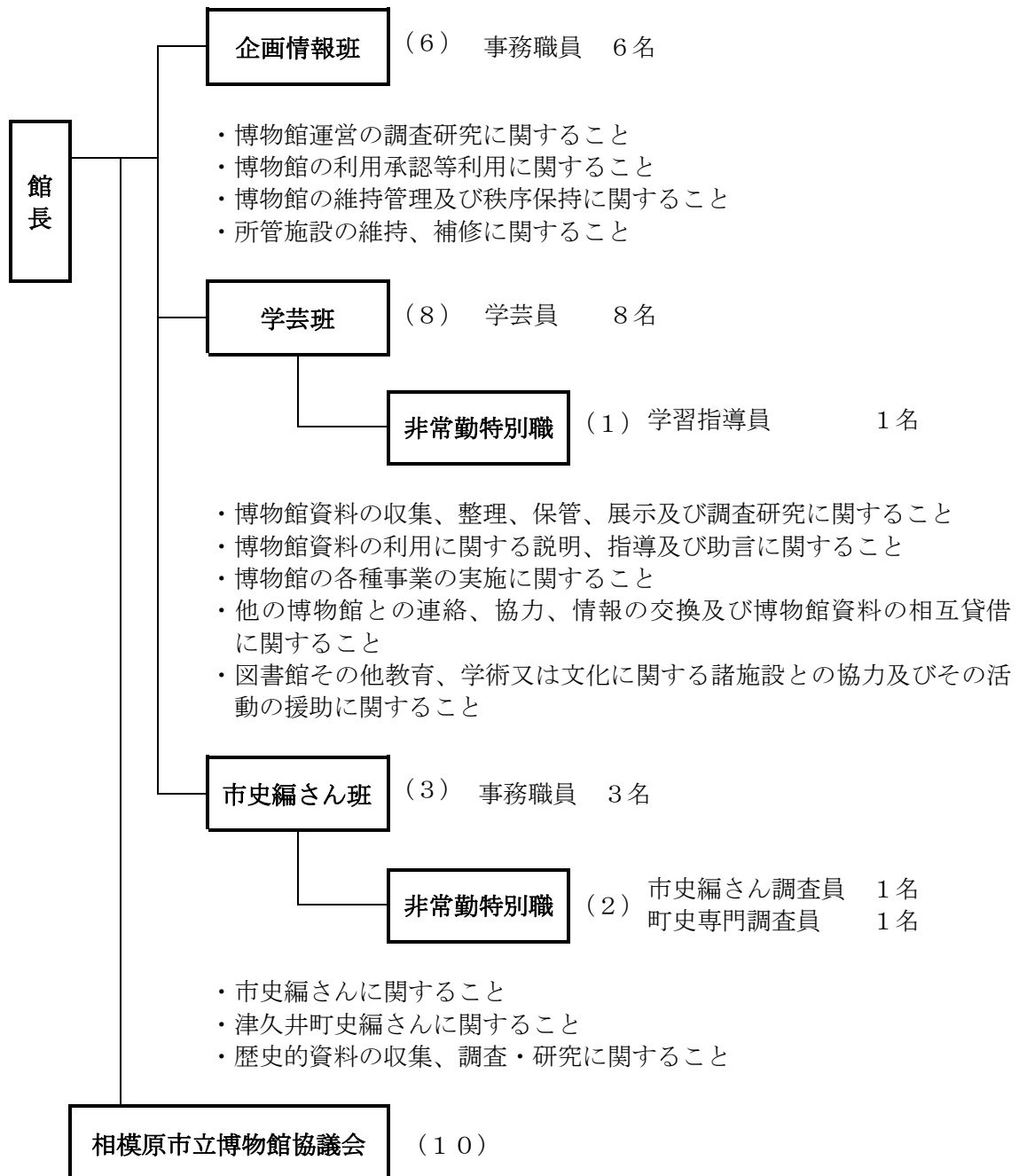
最後に、今回は今後の評価の手法や評価シート全般に係わる有識者評価も実施した。

この点に関しては、博物館として達成できなかった内容の記載や、定量評価に際して妥当な目標値の設定と目標を達成する手法の検討・評価、社会の IT 化への多様な面からの対処、館の特徴の改めでの明示化など、多様な方面からの評価がなされた。

Ⅱ 管理運営

1 組織と事務分掌

平成 31 年 3 月 31 日現在



2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期 2 年

平成 29 年 1 月 20 日～平成 31 年 1 月 19 日

◎会長 ○副会長

	氏 名	備 考	選出区分
	水戸 一平	小学校教諭	学校教育
	千葉 美希子	高等学校副校長	
○	戸塚 厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育
	若林 由美	市立小中学校 P T A 連絡協議会	
	井上 博美	市女性学習グループ連絡協議会	家庭教育
	小瀬 康行	東京家政学院大学教授	学識経験者
◎	青木 雄司	神奈川県公園協会職員	
	生田 ちさと	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授	
	三宅 潔	市民公募	市の住民
	成田 治子		

(3) 活動状況

回	開 催 日	お も な 内 容
1	7 月 1 1 日 (水)	・平成 28 年度活動評価に対する 29 年度の成果について ・平成 30 年度の博物館事業計画について
2	1 1 月 1 5 日 (木)	・博物館の施設と活動について (天文分野)
3	平成 31 年 2 月 7 日 (木)	・博物館評価のあり方について

3 施 設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9, 9 9 9. 4 8 m ²
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規模	地下 1 階・地上 3 階建て
エ 建築面積	5, 0 8 1. 0 3 m ²
オ 延床面積	9, 5 1 0. 2 4 m ²

	用 途・面 積	主 な 室	内 容
展 示・ 教 育	展示スペース (1, 9 0 7 m ²)	自然・歴史展示室 (1, 1 7 0 m ²)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに 5 つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (1 2 7 m ²)	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXA から借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近に感じる資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (4 8 7 m ²)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。

平成 30 年度 相模原市立博物館 年報

	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サービスコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
	プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。
保管・研究	研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース (1,570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。
管理・共用	管理・共用スペース (3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	1階休憩コーナーや軽食のとれる2階喫茶コーナー、市史や図録の他博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

カ W i - F i 博物館(エントランス、常設展示室等)と尾崎弔堂記念館にW i - F i 環境あり。

(2) 施設管理業務委託(委託料年間1,000万円以上)

- ・総合管理業務委託 株式会社オーチャー 相模原支店
委託期間 平成30年6月1日～平成33年5月31日
- ・受付案内業務委託 株式会社ハリマビシステム 相模原営業所
委託期間 平成28年6月1日～平成31年5月31日
- ・プラネタリウム操作等業務委託 株式会社東急コミュニティー
委託期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

(3) 消防訓練 平成31年1月24日(木)
平成31年2月15日(金)[県博協防災訓練]

4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	3 0 年度予算額	3 1 年度予算額	財源内訳	3 0 年度
10	05	55	企画費	0	293	一般財源	0
						特定財源	0
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	30	30	一般財源	30
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	246,240	258,037	一般財源	224,155
						特定財源	22,085
計				246,270	258,067		246,270

博物館費

節		説 明			
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費			
0 1 報酬	5,807	経費内訳		3 0 年度	3 1 年度
0 4 共済費	397	1 博物館協議会経費		273	295
0 7 賃金	5,583	2 施設運営費		53,793	53,334
0 8 報償費	2,535	(1) 資料収集保存経費		9,423	9,046
0 9 旅費	703	(2) 資料調査研究経費		2,685	3,050
1 1 需用費	65,205	(3) 展示・教育普及事業経費		7,247	6,427
1 2 役務費	1,082	(4) プラネタリウム事業経費		34,054	34,427
1 3 委託料	156,426	(5) その他運営費		384	384
1 4 使用料及び賃借料	7,845	3 施設維持管理費		183,001	196,145
1 8 備品購入費	546	4 市史編さん事業		7,647	6,806
1 9 負担金、補助及び交付金	102	(1) 相模原市史編さん費		3,469	6,806
2 7 公課費	9	(2) 津久井町史編さん費		4,124	0
		5 一般事務費		1,526	1,457
合計	246,240		合計	246,240	258,037

主な施設修繕箇所

- 博物館
- ・冷温水発生機ダミー熱交換器交換
 - ・プラネタリウム音響関連機器修繕
 - ・シャッター修繕
 - ・受変電設備修繕
 - ・プラネタリウム自動ドア修繕
- 市史編さん事務室
- ・屋根修繕

Ⅲ 教育普及

1 入館者数

(1) 30年度計 136,450 人 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(2) 総 計 3,005,754 人

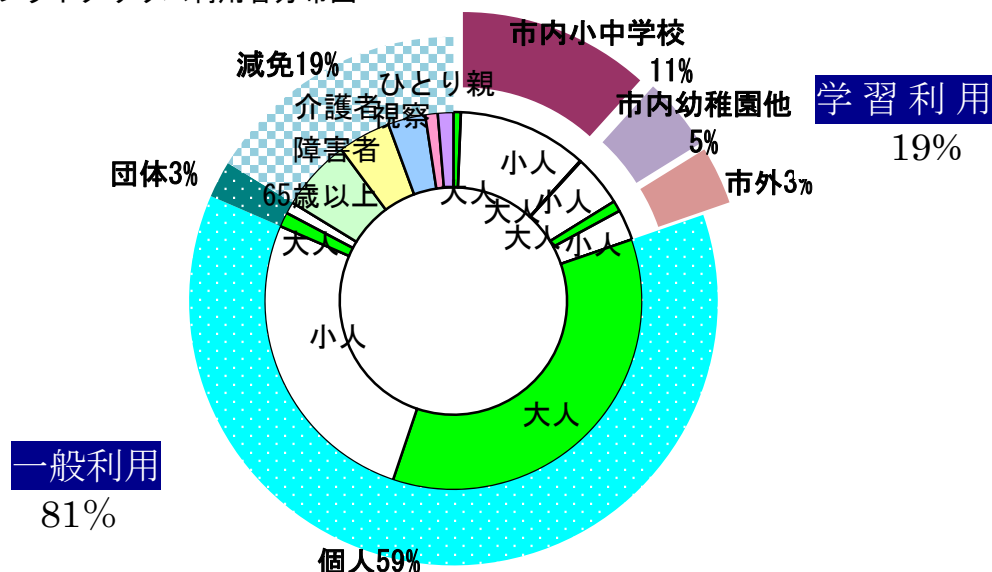
(3) 詳 細

月	入館者数	プラネタ リウム総 数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観 望会	講演会 講座等	観覧料	開館 日数	1日 平均
			一般投影	全天周 映画	学習投影						
4月	8,355	2,628	1,580	975	73	6,765	103	454	¥810,160	26	321
5月	9,270	3,534	2,072	823	639	3,686	155	1,021	¥1,026,630	26	357
6月	9,410	3,429	1,434	1,299	696	3,799	110	862	¥985,780	24	392
7月	17,282	7,702	3,816	3,025	861	8,362	196	1,123	¥2,235,550	26	665
8月	23,687	12,883	6,561	6,288	34	13,753	369	1,146	¥3,730,780	28	846
9月	11,185	4,150	2,635	1,218	297	5,684	189	580	¥1,298,270	26	430
10月	9,269	2,830	1,389	513	928	3,948	119	536	¥776,530	26	357
11月	12,044	5,854	1,311	487	4,056	6,861	163	1,429	¥588,000	26	463
12月	8,856	4,281	1,303	787	2,191	5,556	66	875	¥635,750	24	369
31年1月	6,806	2,321	1,213	830	278	4,514	108	870	¥688,780	22	309
2月	9,070	3,011	1,757	814	440	5,050	58	1,728	¥636,310	24	378
3月	11,216	3,907	1,954	1,580	373	5,091	45	1,217	¥1,138,730	26	431
30年度計	136,450	56,530	27,025	18,639	10,866	73,069	1,681	11,841	¥14,551,270	304	449

* (参考) 開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438	¥17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100	¥15,274,420	307	452
25年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114	¥15,334,880	306	453
26年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344	¥13,971,950	303	418
27年度	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884	71,865	1,685	10,114	¥14,303,490	304	435
28年度	125,194	54,814	26,506	17,075	11,233	68,283	1,615	12,167	¥14,568,880	303	413
29年度	137,996	59,245	24,038	23,530	11,677	72,876	1,588	16,941	¥15,673,280	304	454
30年度	136,450	56,530	27,025	18,639	10,866	73,069	1,681	11,841	¥14,551,270	304	449
総 計	3,005,754	1,278,356	511,716	506,885	259,755	1,335,352	30,890	183,642	¥348,138,690	7,065	425

プラネタリウム利用者分布図



2 企画展（特別展）

（1）考古企画展 「相模原市の遺跡 2018 博物館 de トレジャーハンター ～お宝なぞ解き考古展～Vol. 2」

同時開催「最新考古学調査成果速報展」

- ア 内 容 考古学者“さがぼん”と大日野原遺跡（緑区澤井）の土偶から生まれた“おびのっち”と一緒に、相模原の太古の遺跡から発見された“お宝”の謎を解き明かす、参加型なぞ解き考古展の第2弾。考古学者さながらに主に市内の遺跡から発見された考古資料の謎に立ち向かう企画展。
また、平成29年度に実施した考古資料の調査成果の速報展も同時開催した。
- イ 期 間 平成30年3月17日（土）～平成30年5月6日（日）
- ウ 観覧者 平成29年度 4,883人
平成30年度 9,618人
延べ 14,501人

エ 関連事業

- ①博物館 de クイズラリー（全5回）
実施日 4月7日（土）・14日（土）・21日（土）・28日（土）、5月5日（土・祝）
参加者 延べ 889人（平成29～30年度延べ1,569人）
- ②展示解説
実施日 4月1日（日）、5月6日（日）
参加者 延べ 35人
- ③記念講演会①
「サイエンス×考古学～ミクロな世界、見えないモノから歴史の謎をひもとく～」
実施日 4月8日（日）
講 師 中山 誠二（南アルプス市ふるさと伝承館館長）
参加者 88人
- ④記念講演会②「神津島黒曜石と人類史上最古の往復航海」
実施日 4月15日（日）
講 師 池谷 信之（明治大学 黒曜石研究センター研究員）
参加者 138人
- ⑤中野中里遺跡発掘調査現地説明会

- 実施日 4月21日(土)
共 催 榊玉川文化財研究所
参加者 174人
- ⑥縄文ワークショップ「拓本って何? 模様や字を写しだしてみよう!」
実施日 5月5日(土・祝)
協 力 相模原縄文研究会
参加者 116人

(2) 民俗企画展 「仕事・行事・祭り～写真で見えるいま・むかし～」

- ア 内 容 博物館には昭和56年度からの建設準備を含め、35年以上にも及ぶ期間に撮影されたさまざまな写真が保管されている。こうした博物館で保管する民俗分野に関する約150点の写真を中心に展示を行った。
- イ 期 間 5月26日(土)～7月8日(日)
- ウ 観覧者 延べ 5,883人
- エ 関連事業
- ①民俗講話
内 容 市内の農作業を中心とする仕事や行事、祭りについて、企画展に展示した写真を中心に解説した。
実施日 5月26日(土)、6月16日(土)・23日(土)、7月8日(日)
(※詳細は3(2)ウ15頁参照)
参加者 延べ 233人
講 師 当館学芸員
- ②民俗学講演会「山・鉾・屋台・山車の祭り～歴史と民俗～」
内 容 ユネスコの世界無形文化財に登録されるなど、注目が集まる山車の出る祭りについて、江戸・東京を中心に全国の様子を探った。
実施日 6月3日(日)
参加者 62人
講 師 福原 敏男(武蔵大学教授)
- ③図書館×博物館「相模原市の仕事・行事・祭り」
実施日 6月5日(火)～7月1日(日)

(3) 天文企画展 「JAXA連携企画展 リュウグウふしぎ発見!～小惑星探査機「はやぶさ2」とこれからの太陽系探査～」

- ア 内 容 JAXA相模原キャンパスで開発された小惑星探査機「はやぶさ2」は、平成26年12月3日に打ち上げられ、平成30年6月27日に目的地である小惑星リュウグウへ到着した。
本企画展では、目的地である小惑星リュウグウの探査を通じて次々と小惑星の“ふしぎ”を発見していくであろう「はやぶさ2」のミッションをはじめとする、日本の太陽系探査を支える機器やこれからの探査計画について紹介した。
- イ 期 間 7月21日(土)～9月2日(日)
- ウ 観覧者 延べ 22,002人
- エ 関連事業
- ①スゴロクはやぶさ2「スゴはや2」で遊ぼう!
「はやぶさ2」について知ることのできるスゴロク「スゴはや2」を用いて、製作者である、東京工業大学附属科学技術高等学校科学部の生徒を講師に招き、解説を行いながらスゴロク体験を実施した。
実施日 8月11日(土)
参加者 84人
- ②8月のさがみはら宇宙の日「企画展&交流棟展示解説ツアー」
実施日 8月26日(日)
参加者 57人
- ③なぜなに「はやぶさ2」何でも質問教室

実施日 9月2日(日)
講 師 吉川 真 (JAXA 宇宙科学研究所准教授)
細田 聡史 (JAXA 宇宙科学研究所研究開発員)
参加者 130人

(4) 明治150年関連企画展 「相模原にもある幕末・維新のヒーローたちの痕跡」

ア 内 容 相模原にある幕末・維新のヒーローたちがかかわった文化財の展示や、幕末から維新时期までの市内の歴史に関する資料を紹介した。

イ 期 間 9月15日(土)～10月21日(日)

ウ 観覧者 延べ 8,494人

エ 関連事業

①学芸員講話「相模原に残る幕末・維新のヒーローたちの文化財」

実施日 9月23日(日)

参加者 114人

②「若者が語る幕末・維新のヒーロー愛のつどい」

実施日 9月23日(日)

参加者 50人

③歴史講演会「英傑たちの戊辰戦争―選択と決断―」

実施日 10月14日(日)

講 師 小泉 雅弘(駒澤大学 文学部教授)

参加者 172人

④学芸員による展示解説

実施日 9月15日(土)・23日(日)、10月8日(月・祝)・21日(日)

講 師 当館学芸員

参加者 延べ 106人

⑤図書館出張ミニ展示

実施日 9月23日(日)～10月21日(日)

(5) 博物館実習生展(明治150年関連企画展と同時開催)

内 容 考古・歴史・民俗・生物・地質・天文分野の博物館実習生がまとめた実習成果を紹介した。展示解説も実施した。

※詳細は(4)参照

(6) 学習資料展 「まなべる くらべる 学習資料展 ～便利になった道具とふるさといろはかるたで見る移り変わり～」

ア 内 容 電化製品などの道具の変遷や、ふるさといろはかるたで見る風景の移り変わりなど、小中学生の学習に役立つ展示を行った。また、昔の道具や遊びの体験コーナーも開設した。

イ 期 間 11月1日(木)～平成31年2月24日(日)

ウ 観覧者 延べ 21,981人

エ 関連事業

①チャレンジ体験コーナー(全8回)

昔あそび、道具体験、紙芝居上演等を行った。

日 時 11月4日(日)・18日(日)、12月2日(日)・16日(日)、
1月6日(日)・20日(日)、2月3日(日)・17日(日)

参加者 延べ 1,488人

②図書館出張ミニ展示(相模原ふるさといろはかるたの紹介)

実施日 1月10日(木)～2月13日(水)

(7) 考古企画展 「相模原市の遺跡2019 博物館deトレジャーハンター

～お宝なぞ解き考古展～Vol. 3」

同時開催「最新考古学調査成果速報展」

- ア 内 容 考古学者“さがぼん”と大日野原遺跡（緑区薄井）の土偶から生まれた“おびのっち”と一緒に、相模原の太古の遺跡から発見された“お宝”の謎を解き明かす、参加型なぞ解き考古展の第3弾。今回は学校の周辺でどんな遺跡が発見されているのかを紹介した。
その他“おびのっち”のモデルとなった大日野原遺跡の土偶装飾付き土器の最新調査成果などを展示した。
- イ 期 間 平成31年3月16日（土）～平成31年5月6日（月・祝）
- ウ 観覧者 平成30年度 5, 091人
平成31年度 12, 340人
延べ 17, 431人

3 講座・講演会・教室・観望会などの事業

（1）プラネタリウム おためしタイム（無料）

- ア 内 容 日曜日・祝日の12時10分から「おためしタイム」として無料で約10分間の番組を投影した。※PPP提案事業
- イ 実施日 日曜・祝日
- ウ 参加者 延べ 3, 322人（計66回投影）

（2）学芸員講話（全6回）

- 「さがみはらの博物誌」として、相模原市立博物館学芸員講話全6回を開催した。
- ア「相模原生きもの百科 あなたはいくつ知っていますか？」
内 容 市内に生息する野生生物について、クイズ形式で解説した。
実施日 5月13日（日）
参加者 51人
- イ「石老山の成り立ち」
内 容 石老山や岩殿山などの成り立ちについて、伊豆半島の衝突と絡めて解説した。
実施日 6月10日（日）
参加者 113人
- ウ「道祖神のまつりかた」
内 容 どんど焼きをはじめ、市内外の道祖神の祭りや信仰について考えた。
実施日 7月8日（日）
参加者 118人
- エ「相模原に残る幕末・維新のヒーローたちの文化財」
※詳細は2（4）エ14頁参照
- オ「学芸員講話 in プラネタリウム～極北の星空とオーロラ～」
内 容 アラスカの星空や自然とともに、ダイナミックで美しい自然現象であるオーロラについて紹介した。
実施日 10月21日（日）
参加者 107人
- カ「石の縄文文化誌」
内 容 市内に多く発見されている敷石住居や配石墓など石を使った住まいやお墓の遺構を、集落構造との関係などとも絡めて解説した。
実施日 11月18日（日）
参加者 114人

（3）国際博物館の日記念事業

- ア「プラネタリウムこども無料デー」
内 容 5月18日の「国際博物館の日」にちなみ、プラネタリウム・全天周映画の観

覧料の内、こども（4歳～中学生）料金を無料とした。

実施日 5月19日（土）・20日（日）

参加者 延べ 211人

イ「昼間の星の観望会」

内 容 天体観測室にある口径40cmの大型望遠鏡で昼間でも見える天体を観望した。

実施日 5月20日（日）

参加者 延べ 192人

講 師 当館学芸員、相模原市立博物館天文クラブ会員

（4）地質学講座「石老山と岩殿山」（全4回）

ア 内 容 石老山と岩殿山の地質と形成過程を学習し、現地で観察会も行った。

イ 実施日 5月13日（日）・27日（日）、6月10日（日）（※詳細は（2）イ15頁参照）・24日（日）

ウ 会 場 市立博物館、石老山、岩殿山（山梨県大月市）

エ 参加者 延べ 207人

オ 講 師 当館学芸員

（5）軍都さがみはら探訪

～小田急相模原・相模大野駅周辺及び八王子浅川地下壕を巡る～（全2回）

ア 内 容 臨時東京第三陸軍病院・電信第一連隊、陸軍通信学校関係など、戦争遺跡について学んだ。

イ 実施日 5月20日（日）・27日（日）

ウ 参加者 延べ 105人

エ 場 所 小田急相模原・相模大野駅周辺、八王子浅川地下壕

オ 案 内 当館学芸員、浅川地下壕の保存をすすめる会会員

（6）初心者のための植物学教室「花の観察と植物画」（全2回）

ア 内 容 植物の観察方法としての植物学を学ぶ、初心者向けの教室

イ 実施日 6月2日（土）・9日（土）

ウ 参加者 延べ 39人

エ 講 師 豊田 路子（植物画家）、当館学芸員

（7）プラネタリウム「はやぶさウィーク」特別上映

ア 内 容 6月13日の「はやぶさの日」にちなみ「はやぶさ」関連の全天周映画を上映し、観覧者にオリジナル缶バッジをプレゼントした。6月13日には、無料で計2回の上映を行った。

イ 実施日 6月13日（水）～17日（日）（上映回数14回）

ウ 観覧者 延べ 701人（プラネタリウム観覧者数に含む）

（8）博物館d e 星まつり！ 七夕でワッショイ！

ア 内 容 短冊や七夕飾りを作って飾ることができる笹飾りや七夕らしい記念撮影コーナーを設置した。

イ 期 間 6月28日（木）～7月8日（日）

ウ 関連事業 ワークショップ「星のストラップ作り」

実施日 7月7日（土）

参加者 100人

（9）「夏休み 博物館で学習しよう！」

ア 内 容 夏休みの自由課題・研究などについて、学芸員や学習指導員がアドバイスをを行った。

イ 実施日 7月21日（土）～8月31日（金）

ウ 参加者 延べ 27人

エ 講 師 当館学芸員、学習指導員

(10) 博物館 d e 夕涼み！ 打ち水でワッショイ！

ア 内 容 ペットボトルとストローを使って水鉄砲を作り、打ち水を行った。また、尾崎
号堂記念館、吉野宿ふじやでも、打ち水イベントを同時開催した。

イ 実施日 7月26日(木)

ウ 参加者 100人

(11) JAXA相模原キャンパス特別公開

ア 内 容 普段は公開していない研究施設や最新の研究内容を、JAXAの研究員が分かり
やすく解説するイベント。博物館においては、ワークショップ・トークイベ
ント等を行った。

イ 実施日 7月27日(金)・28日(土) *28日(土)は台風のためイベント中止。

ウ 参加者 延べ 789人

エ 当館事業

①事業名 描いて動かそう！月で働くガンバル機械

実施日 7月27日(金)

参加者 60人

講 師 JAXA宇宙探査イノベーションハブ職員

②事業名 光のふしぎを体験しよう！

実施日 7月27日(金)

参加者 延べ 487人

講 師 JAXA宇宙教育センター職員

③事業名 JAXA職員が語る宇宙科学の仕事と生活・歴代の管制室、紹介しま
す。(延べ5回)

実施日 7月27日(金)

参加者 延べ 242人

講 師 JAXA科学衛星運用・データ利用ユニット職員ほか

④事業名 宙女イベント 講演「宇宙への挑戦」

予定実施日 7月28日(土) ※台風のため中止

⑤事業名 宙女イベント経験者が語る宙女の今とこれから

予定実施日 7月28日(土) ※台風のため中止

(12) 子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」(全2回)

ア 内 容 ミョウバン結晶の育成実験や鉱物の硬さ比べなどを通して、鉱物についての初
歩を学習した。

イ 実施日 8月5日(日)・19日(日)

ウ 参加者 延べ 46人(小学校4年生～中学生)

エ 講 師 当館学芸員、相模原地質研究会

(13) 博物館 d e 夏まつり！ 伝統的七夕でワッショイ！

ア 内 容 エントランスに笹飾りを設置し、七夕伝承についてのパネル展やワークショッ
プなどを開催した。

イ 実施日 8月13日(月)～8月19日(日)

ウ 関連事業

①ワークショップ「星のストラップ作り」

実施日 8月17日(金)

参加者 延べ 100人

②浴衣でワッショイ！プラネタリウム観覧料無料

実施日 8月17日(金)

参加者 80人(浴衣や甚平等で来館した人)

(14) 夏休み親子天文教室「手作り天体望遠鏡」

- ア 内 容 望遠鏡の仕組みを学びながら口径 4 c m の屈折望遠鏡を親子で作りと、製作した天体望遠鏡を使い、天体観測を行った。
- イ 実施日 8 月 1 8 日 (土)
- ウ 参加者 2 2 組 5 4 人
- エ 講 師 当館学芸員、プラネタリウム解説員、相模原市立博物館天文クラブ、市民学芸員

(15) 探検！発見！クイズ&チャレンジ2018 (全2回)

- ア 内 容 主に幼児を対象にした体験型のスタンプラリーと小学生以上を対象にしたクイズで、常設展示室の 6 分野で行った。
- イ 実施日 8 月 2 5 日 (土)・2 6 日 (日)
- ウ 参加者 延べ 7 5 6 人
- エ 講 師 市民学芸員

(16) 小中学生のための生物学教室「動物のからだのつくりを学ぼう」

- ア 内 容 学校の理科の授業より少し専門的な生物学を学んだ。生きものカメラマンのお話を伺ったり、実際に生きものに触れて扱い方を学んだりした。
- イ 実施日 8 月 2 9 日 (水)
- ウ 参加者 2 5 人 (小学校 4 年生～中学 3 年生)
- エ 講 師 松橋 利光 (カメラマン)、後藤 貴治 (ペットショップオーナー)

(17) 中世さがみはら探訪 ブラリウノモリ～古淵から町田周辺をめぐる～

- ア 内 容 南北朝時代から戦国時代の伝承地などを探訪した。また、登録有形文化財の「幸延寺の古銭」の特別見学も行った。
- イ 実施日 9 月 1 日 (土)
- ウ 参加者 3 9 人
- エ 場 所 古淵駅～町田駅周辺

(18) さがみはら宇宙の日

- ア 内 容 毎月 1 回天文字宙関連の講演やワークショップなどを開催した。4 月には小惑星探査機「はやぶさ 2」が目的地である小惑星 R y u g u (リュウグウ) に到達するまでの間、市民のみなさまの興味関心を深め、応援の気運を高めていくことを目的に開催した「はやぶさ 2」トークライブが最終回となった。
- イ 実施日・テーマ・参加者数・講師
- ① 施日 4 月 7 日 (土)
- テーマ 「はやぶさ 2」トークライブ V o l . 1 4 「リュウグウの乙姫殿。お宝をいただきます。近日参上 はやぶさ 2」
- 参加者 1 6 5 人
- その他、インターネット会議システムを利用したリモート会場 1 2 3 人
- ※リモート会場内訳：はまぎんこども宇宙科学館 3 5 人、つくばエキスポセンター 3 0 人、上田創造館 3 9 人、千葉市科学館 1 9 人
- 講 師 吉川 真 (J A X A 宇宙科学研究所准教授)
- 津田 雄一 (J A X A 宇宙科学研究所准教授)
- ② 実施日 5 月 1 9 日 (土)・2 0 日 (日)
- テーマ 国際博物館の日記念事業 プラネタリウムこども無料デー・昼間の星の観望会
- ※詳細は (3) 1 5 頁参照
- ③ 実施日 6 月 3 0 日 (土)
- テーマ A s t e r o i d D a y (アステロイドデー) i n 相模原 2 0 1 8
- 参加者 5 2 人
- 講 師 吉川 真 (J A X A 宇宙科学研究所准教授)

藤原 智子（日本スペースガード協会 観測員）

④実施日 7月27日（金）

テーマ 平成30年度JAXA特別公開イベント

※詳細は（11）17頁参照

⑤実施日 8月26日（日）

テーマ 企画展&交流棟展示解説ツアー

※詳細は2（3）13頁参照

⑥実施日 9月16日（日）

テーマ 昼間の星の観望会

参加者 延べ68人

講師 当館学芸員、博物館学芸員実習生（天文分野）

⑦実施日 10月21日（日）

テーマ 学芸員講話 in プラネタリウム～極北の星空とオーロラ～

※詳細は（2）オ15頁参照

⑧実施日 11月23日（金・祝）

テーマ リラックスプラネタリウム～森の香りを添えて～

参加者 151人

⑨実施日 12月16日（日）

テーマ 子どもと大人共に学ぶ宇宙教室公開講座

参加者 94人

講師 大川 拓也（JAXA宇宙科学探査交流棟スタッフ）

加藤 博子（文学博士）

※中央地区宇宙教室実行委員会との共催

⑩実施日 1月26日（土）

テーマ 研究機関等公開講座宇宙研究開発機構コース 講演「水星磁気圏探査機『みお』について」

参加者 78人

講師 小川 博之（JAXA宇宙科学研究所教授）

※生涯学習センターとの共催

⑪実施日 2月9日（土）

テーマ 宇宙フェスタさがみはら～相模原から水星へ～

参加者 延べ568人

（内訳：講演会&座談会185人、昼間のプチ観望会43人、プラネタリウム61人、記念撮影コーナー70人、紙芝居70人、宇宙と音楽の夕べ70人、星のストラップづくり69人）

講師 【講演会&座談会】

早川 基（JAXA宇宙科学研究所教授）

村上 豪（JAXA宇宙科学研究所助教）

石川 雅之（漫画家）

【宇宙と音楽の夕べ】

松岡 邦忠（桜美林大学教授）

※シティセールス・親善交流課等と共催（宇宙フェスタ実行委員会）

⑫実施日 3月9日（土）

テーマ ハンドベルスプリングコンサート in プラネタリウム

参加者 210人

演奏者 イングリッシュハンドベルサークル「奏ベルフレア」

（19）星空観望会

ア 内容 季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図った。

イ 実施回数 計24回（原則月2回（8月は4回）金曜日又は土曜日に開催・定員各回120人）

ウ 参加者 延べ 1, 681人

エ 対応 当館学芸員、プラネタリウム解説員、星空観望会補助者、市民学芸員

(20) 生きもののミニサロン (全 14 回)

- ア 内 容 博物館周辺で身近な生きものを観察した。
イ 期 間 4月7日(土)～平成31年3月23日(土)
ウ 参加者 延べ 267人
エ 講 師 当館学芸員ほか

(21) ジャンベライブ in プラネタリウム～アフリカの星と大地～

- ア 内 容 日本では見ることができない赤道直下の星空の解説と、ジャンベなどのアフリカの打楽器を中心とした演奏のコラボレーションコンサートを実施した。
イ 実施日 9月30日(日)
ウ 参加者 205人
エ 演奏者 タルトカ・パーカッション with Friends

(22) 新指定文化財の特別公開

- ア 内 容 考古資料を新たに市指定文化財に指定したことを記念して特別公開した。
○田名塩田遺跡群出土の真脇式土器
○中野大沢出土の弥生土器
○苦久保遺跡第3地点出土の朱書土器
イ 期 間 10月2日(火)～12月28日(金)

(23) 市史講演会 「相模原市史続編の編さんとその成果―近・現代史を中心に―」

- ア 内 容 相模原市史続編の編さんについて、講演を行った。
イ 実施日 10月7日(日)
ウ 参加者 36人
エ 講 師 浜田 弘明(桜美林大学教授)

(24) 小学生向けプログラミング体験イベント～小惑星リュウグウをめざそう！～

- ア 内 容 小惑星探査機「はやぶさ2」のミッションを例としながら宇宙探査を行う上で欠かすことのできないプログラミング技術について、事業を通して体験してもらうことで宇宙教育の更なる普及を図った。
イ 実施日 10月20日(土)
ウ 参加者 80人
エ 講 師 清水 亮佑(夢見る株式会社(ロボ団))、JAXA宇宙教育センター職員ほか

(25) 火山灰を顕微鏡で見てみよう

- ア 内 容 日本各地の地層の中の火山灰を顕微鏡で観察した。また、火山灰中に含まれる鉱物の洗い出し作業も体験した。
イ 実施日 10月28日(日)
ウ 参加者 126人
エ 講 師 当館学芸員、相模原地質研究会

(26) 博物館考古資料文化財指定記念講演会「土器から探る縄文社会の広域ネットワーク―田名塩田遺跡群出土の真脇式土器と石川県真脇遺跡の比較を通して―」

- ア 内 容 田名塩田遺跡群の真脇式土器と石川県真脇遺跡との比較についての講演会。
イ 実施日 11月3日(土・祝)
ウ 参加者 121人
エ 講 師 山本 典幸(首都大学東京人文社会学講師)

(27) 学びの収穫祭

- ア 内 容 博物館を拠点に活動するボランティアグループなどの研究・発表会を行った。
イ 実施日 11月17日(土)・18日(日)

ウ 参加者 延べ 460人

エ 関連事業

相模原市立博物館天文クラブによる「昼間の星の観望会」

内 容 天体観測室にある口径40cmの天体望遠鏡で昼間の星を観望した。

実施日 11月18日(日)

参加者 46人

(28) 縄文ワークショップ 縄文土器の縄目文様を体験

ア 内 容 縄と粘土を使って、縄文土器の文様の付け方を体験した。

イ 実施日 11月17日(土)・18日(日)

ウ 参加者 延べ 160人

エ 講 師 相模原縄文研究会

(29) 考古学講座 縄文学事始 (全4回)

ア 内 容 縄文時代に関する様々な視点による全4回の連続講座。

イ 実施日 ①「石の縄文文化誌」 ※詳細は(2)カ15頁参照

②「土器づくりのムラ」 12月23日(日・祝) 111人

講 師 山本 孝司(東京都埋蔵文化財センター主任調査員)

③「縄文時代の墓と祖先観」 平成31年1月27日(日) 140人

講 師 阿部 友寿(かながわ考古学財団調査員)

④「縄文の美を楽しむ」 平成31年2月24日(日) 230人

講 師 井出 浩正(東京国立博物館学芸員)

ウ 参加者 延べ 595人

(30) 津久井町史講演会 津久井の歴史に触れる (全3回)

ア 内 容 ①「津久井の仏像」 11月24日(土) 41人

講 師 薄井 和男(神奈川県立歴史博物館長)

②「津久井の近代建築」 12月 1日(土) 23人

講 師 海老澤 模奈人(東京工芸大学教授)

③「津久井の祭りと石仏」 12月 8日(土) 45人

講 師 当館学芸員

イ 場 所 津久井生涯学習センター

ウ 共 催 グリーンカレッジ津久井運営委員会、津久井生涯学習センター

(31) 津久井城跡発掘調査現地説明会

ア 内 容 戦国時代の山城である津久井城跡の発掘調査を実施し、庭園遺構に関わる調査状況を現地公開した。

イ 実施日 11月25日(日)

ウ 場 所 県立津久井湖城山公園里山広場

エ 参加者 110人

(32) 歴史講座 「相模原のものふ 横山党について」(全3回)

ア 内 容 鎌倉時代初めの頃に相模原周辺で活躍した武士の横山党について、講座とフィールドワークで学んだ。

イ 実施日 12月15日(土)、平成31年1月19日(土)、2月16日(土)

ウ 場 所 市立博物館、矢部～小山周辺、八王子周辺

エ 参加者 延べ 101人

(33) プラネタリウム「クリスマスほしぞらコンサート」

ア 内 容 プラネタリウム内で星空解説や映像演出と中山うりさんらの歌と生演奏を楽しむクリスマスコンサートを実施した。※PPP提案事業

イ 実施日 12月16日(日)

- ウ 参加者 211人
エ 出演者 歌・アコーディオン・トランペット・ギター：中山 うり、
ベース：南 勇介、ギター：福澤 和也、ドラム：菅沼 雄太

(34) 星のキラキラ ストラップを作ろう！

- ア 内 容 クリスマスにふさわしい、星型のストラップを作った。
イ 実施日 12月24日（月・祝）
ウ 参加者 70人

(35) 市史ミニ展示 相模原市史続編を彩った資料

第1回

- ア 内 容 昭和29年の市制祝賀式当日に読み上げられた県知事の祝辞（原本）と当日の写真
を展示した。
イ 実施日 9月7日（金）～10月7日（日）
市史講演会（※詳細は（23）20頁参照）と同時開催

第2回

- ア 内 容 米国兵が駐留を始めた昭和20年9月の回覧板で、裏に手書きの英文と米国陸軍
の階級章の一覧が付けられている現物を展示した。
イ 実施日 10月14日（日）～12月28日（金）

第3回

- ア 内 容 「ミンナデ兎ヲ飼ヒマセウ」ポスターと「点呼参会者の為に」地図を展示した。
イ 実施日 平成31年1月12日（土）～4月12日（金）

(36) 民俗ミニ展示 ハレの日の食器

- ア 内 容 地域的なまとまりである講中が共同所有し、冠婚葬祭等に用いられる食器類を展
示した。
イ 実施日 11月13日（火）～平成31年2月24日（日）

(37) 部分日食を観察しよう！

- ア 内 容 天体観測室前室及び観測テラスにおいて、日食メガネ、ピンホール、太陽投影板
の3種類の観察方法を紹介すると共に、実際にそれらを用いて部分日食の観察を
行った。
イ 実施日 1月6日（日）
ウ 参加者 117人

(38) 今年もやります！ 繭うさぎ作り

- ア 内 容 市民学芸員が指導し、繭を使った繭うさぎ作りを教えた。
イ 実施日 2月10日（日）
ウ 参加者 200人
エ 講 師 市民学芸員

(39) 小惑星探査機「はやぶさ2」タッチダウン 実況パブリックビューイング

- ア 内 容 当館で応援を続けてきた「はやぶさ2」がついに小惑星リュウグウへのタッチダ
ウンに挑戦。JAXAが公開するY o u T u b e の生配信番組を館内エントラン
スで上映した。
イ 実施日 2月22日（金）
ウ 参加者 213人

(40) いろいろな砂を顕微鏡で見よう

- ア 内 容 日本各地の川原・海岸や、南極、サハラ砂漠の砂を顕微鏡で観察したり、記念
カードを作ったりした。
イ 実施日 2月24日（日）

ウ 参加者 179人

エ 講師 当館学芸員、相模原地質研究会、光明学園相模原高校理科研究部

(4 1) 天皇陛下御在位30年記念慶祝事業

ア 内 容 天皇陛下御在位30年を記念し、プラネタリウム・全天周映画の観覧料を無料とした。

イ 実施日 2月24日(日)

ウ 観覧者 延べ 591人

(4 2) ～紙のひな人形作り～ 大人の工作教室

ア 内 容 和紙や千代紙などを用いて紙のひな人形作りを行った。

イ 実施日 3月2日(土)

ウ 参加者 20人

(4 3) ミニ展示「皇室に関する新聞や絵葉書」

ア 内 容 収蔵品を中心に、皇室に係わる当時の新聞や絵葉書等を展示した。

イ 実施日 3月6日(水)～4月30日(火・祝)

(4 4) 来館者300万人達成記念事業

3月19日(火)に来館者が300万人に達成したことを記念したイベントを多数開催した。

ア ピッタリ!300万人クイズ!

内 容 300万人達成日予想クイズに応募していただいた方に賞品を抽選でプレゼントした。

応募期間 3月1日(金)～3月19日(火)

応募者 458人

当選者 61人

イ 「映える」フォトスポット

実施日 3月1日(金)～5月6日(月・祝)

ウ 記念パネル

実施日 3月1日(金)～5月6日(月・祝)

メッセージ総数 2075枚

エ ミニプレゼント

①ミュージアムショップで1,080円以上お買い物をした方にミニプレゼント
(数量限定60個)(協力:㈱東京サイエンス)

実施日 3月20日(水)から(3月31日(日)で終了)

②記念品贈呈(先着200人)(協力:JAXA宇宙科学研究所)

実施日 3月21日(木・祝)

オ プラネタリウム招待券プレゼント

内 容 プラネタリウム観覧者全員に次回使える招待券を1人1枚プレゼントした。

実施日 3月20日(水)～3月26日(火)

配布枚数 918枚

カ チェキ撮影会

実施日 3月21日(木・祝)

参加者 50組

(4 5) 民具研究講座「民具から見えてくる地域像」

ア 内 容 民具の地域研究を通して明らかになる地域像について、南関東地域の具体的な事例をもとに捉える。

①南関東の共有膳^{だん}～東京都・神奈川県^の事例から

講 師 神 かほり(日本民具学会理事)

②東京湾沿岸地域の漁^り具調査から～千葉県浦安市・君津市の事例を中心に～

講 師 尾上 一明（浦安市郷土博物館学芸員・日本民具学会理事）

③市民協働による展示替え～都市近郊博物館と民具～

講 師 加藤 隆志（当館学芸員・日本民具学会理事）

イ 実施日 3月23日（土）

ウ 参加者 38人

4 プラネタリウム・全天周映画

（1）投影等開始時間

平日（火～金（特別上映期間を除く））

午後2時40分・午後3時50分

土・日・祝日及び特別上映期間

午前11時00分・午後1時30分・午後2時40分・午後3時50分ほか

（2）一般投影

テーマ解説

ア 内 容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成（所要約40分）

イ 番 組 ①太陽系総選挙～みんなの1番紹介します～

4月1日（日）～4月27日（金）

②ハッブル宇宙望遠鏡が見た宇宙

4月28日（土）～6月12日（火）

③このチャンスを見逃すな！！～15年ぶりの火星大接近～

6月19日（火）～8月10日（金）

※7月27・28日を除く

④ウソ？ホント？「金星と地球は双子星」～あきらめなかった金星探査機
「あかつき」の成果～

7月27日（金）・28日（土）

⑤夏の大三角・天の川紀行

8月11日（土）～9月2日（日）

⑥「はやぶさ2」が見た“リュウグウ”～小惑星の謎に挑む～

9月4日（火）～11月4日（日）

⑦クローズアップ太陽～驚異の姿と日食～

11月6日（火）～12月28日（金）

⑧もっと知りたい！宇宙のハテナ

平成31年1月4日（金）～3月31日（日）

こどもプラネタリウム

ア 内 容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成（所要約40分）

イ 番 組 ①リーベルタース天文台だより 春の星座の物語

4月1日（日）～5月27日（日）

平成31年3月2日（土）～3月31日（日）

②リーベルタース天文台だより 夏の星座の物語

6月2日（土）～9月2日（日）

③リーベルタース天文台だより 秋の星座の物語

9月8日（土）～11月25日（日）

④リーベルタース天文台だより 冬の星座の物語

12月1日（土）～平成31年2月24日（日）

星空模様

ア 内 容 解説員による季節の星空解説（所要約40分）

春：4月7日（土）～5月27日（日）

平成31年3月2日（土）～3月10日（日）

夏：6月2日（土）～7月16日（月・祝）

秋：9月8日（土）～11月25日（日）

冬：12月1日（土）～平成31年2月24日（日）

全天周映画

ア 内 容 大型映像の全天周映画作品を上映

- イ 番 組 ①いきものがたり～いきものはみんな星からできている～
4月1日（日）～4月4日（水）
②名探偵コナン 星影の魔術師
4月1日（日）～4月4日（水）
③ISSからの眺め（同時上映「まくまくんの星空大冒険」）
4月5日（木）～平成31年3月31日（日）
※6月13日（水）～6月17日（日）、7月21日（土）～9月2日（日）、12月22日（土）～平成31年1月6日（日）を除く
④HAYABUSA 2 RETURN TO THE UNIVERSE リュウグウ版
6月13日（水）～6月17日（日）
7月27日（金）・28日（土）
12月22日（土）～平成31年1月6日（日）
⑤HAYABUSA BACK TO THE EARTH 帰還バージョンDC版
6月13日（水）～6月17日（日）
7月27日（金）・28日（土）
⑥かいけつゾロリ ZZのひみつ
7月21日（土）～9月2日（日）
⑦月の魔法とサンゴの海
7月21日（土）～9月2日（日）
⑧銀河鉄道の夜
12月22日（土）～平成31年1月6日（日）
平成31年3月16日（土）～3月31日（日）

（3）学習投影

ア 内 容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

- イ 番 組 小中学校向け 「今晚の星空」
「空を見上げて（夏・冬）」
「宇宙への旅」
幼児向け 「今晚の星空」
「リーベルタース天文台だより」（春・夏・秋・冬）
「ピーターパンのぼうけん」
「ピーターパンとほしのくにへいこう！」
「おしえて！さがぼん お月さまってなあに？」
「ワクワクさがぼん！惑星めぐり」

ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回投影

エ 観覧者 延べ 10,866人

（4）広 報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し小中学校や報道機関等に発送。博物館ホームページや広報さがみはらに番組内容を掲載。

5 情報サービスコーナー

ビデオ作品年間視聴回数

計 39回

DVDライブラリー作品年間視聴回数

計 177回

6 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
 イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
 ウ 研究報告

(2) 有償刊行物一覧（平成 31 年 3 月 31 日現在）

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 626,490 円

①博物館 図録・報告書等売上

合計 32冊 17,430 円

ア 特別展・企画展図録等

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7 . 11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8 . 2	完売
相模原の昆虫－身近にいる小さな仲間たち－	¥350	H 8 . 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8 . 11	完売
絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－	¥2,550	H 9 . 7	完売
太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－	¥700	H 9 . 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10 . 9	完売
水生昆虫の世界－水の中の小さな虫たち－	¥1,200	H 11 . 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11 . 10	完売
花を描き、花を知る－植物画の魅力－	¥1,200	H 12 . 7	完売
幕末・維新の相模原－村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち－	¥1,500	H 12 . 10	完売
星の測量－角度をはかり、位置をもとめる－	¥700	H 13 . 7	2
“道”再発見－道の役割とその移りかわり－	¥1,500	H 13 . 10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14 . 7	4
水晶ってすばらしい！－その美と実用の魅力－	¥1,000	H 15 . 7	0
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16 . 7	0
相模原－その開発と変貌－	¥800	H 16 . 10	6
地球 46 億年	¥900	H 17 . 7	1
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18 . 10	完売

イ 報告書等

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
研究報告第 7 集 1999	¥850	H 10 . 3	完売
研究報告第 8 集 2000	¥850	H 11 . 3	完売
研究報告第 9 集 2001	¥900	H 12 . 3	完売
研究報告第 10 集 2002	¥900	H 13 . 3	完売
研究報告第 11 集 2002	¥850	H 14 . 3	完売
研究報告第 12 集 2003	¥900	H 15 . 3	0
研究報告第 13 集 2004	¥900	H 16 . 3	0
研究報告第 14 集 2005	¥900	H 17 . 3	0
研究報告第 15 集 2006	¥1,050	H 18 . 3	0
研究報告第 16 集 2007	¥1,150	H 19 . 3	0
研究報告第 17 集 2008	¥1,150	H 20 . 3	1
研究報告第 18 集 2009	¥700	H 21 . 3	0
研究報告第 19 集 2010	配布のみ	H 22 . 3	－
研究報告第 20 集 2012	配布のみ	H 24 . 3	－
研究報告第 21 集 2013	配布のみ	H 25 . 3	－
研究報告第 22 集 2014	配布のみ	H 26 . 3	－
研究報告第 23 集 2015	配布のみ	H 27 . 3	－

平成 30 年度 相模原市立博物館 年報

研究報告第 2 4 集 2 0 1 6	配布のみ	H 28 . 3	-
研究報告第 2 5 集 2 0 1 7	配布のみ	H 29 . 3	-
研究報告第 2 6 集 2 0 1 8	配布のみ	H 30 . 3	-
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H 10 . 3	完売
地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H 12 . 3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H 13 . 3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H 14 . 3	2
資料目録 4 テフラ標本目録	¥850	H 15 . 3	0
資料目録 5 相模原植物誌Ⅰ	¥600	H 15 . 3	1
古淵 B 遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H 17 . 3	4
博物館所蔵古文書目録	¥900	H 17 . 3	0
境川流域民俗調査報告書	¥500	H 17 . 3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H 20 . 3	0
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H 21 . 5	11

ウ 展示解説書

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
常設展示解説書	¥1,000	H 8 . 11	完売

合 計	¥ 17,430	32
-----	----------	----

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 274冊 609,060 円

ア 相模原市史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模原市史 第 1 巻 (中世以前通史)	¥2,300	S 39 . 11	2
相模原市史 第 2 巻 (近世通史)	¥3,400	S 42 . 3	2
相模原市史 第 3 巻 (近代通史)	¥2,800	S 44 . 2	3
相模原市史 第 4 巻 (現代通史)	¥3,200	S 46 . 3	3
相模原市史 第 5 巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S 40 . 11	2
相模原市史 第 6 巻 (近代資料集)	¥3,200	S 43 . 2	2
相模原市史 第 7 巻 (別編)	¥1,900	S 47 . 3	1
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16 . 11	17
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20 . 3	1
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21 . 5	8
相模原市史 民俗編	¥2,550	H 22 . 3	21
相模原市史 民俗編DVD版	¥1,550	H 22 . 3	6
相模原市史 現代通史編	¥2,100	H 23 . 3	6
相模原市史 考古編	¥2,650	H 24 . 3	15
相模原市史 現代テーマ編	¥2,310	H 26 . 3	11
相模原市史 文化遺産編	¥3,060	H 27 . 3	13
相模原市史 近代資料編	¥3,240	H 29 . 5	3
相模原市史 別編	¥1,690	H 30 . 2	5
相模原市史 別編CD版	¥920	H 30 . 2	6
相模原市史ノート創刊号	¥350	H 16 . 3	4
相模原市史ノート第 2 号	¥700	H 17 . 3	0
相模原市史ノート第 3 号	¥600	H 18 . 3	0
相模原市史ノート第 4 号	¥600	H 19 . 3	3
相模原市史ノート第 5 号	¥600	H 20 . 3	2
相模原市史ノート第 6 号	¥700	H 21 . 3	2
相模原市史ノート第 7 号	¥700	H 22 . 3	0
相模原市史ノート第 8 号	¥650	H 23 . 3	1
相模原市史ノート第 9 号	¥700	H 24 . 3	0
相模原市史ノート第 1 0 号	¥700	H 25 . 3	6
相模原市史ノート第 1 1 号	¥700	H 26 . 3	3
相模原市史ノート第 1 2 号	¥700	H 27 . 3	1
相模原市史ノート第 1 3 号	¥700	H 28 . 3	1

相模原市史ノート第 14 号	¥720	H 29 . 3	13
相模原市史ノート第 15 号	¥760	H 30 . 3	9
相模原市史調査報告書 1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H 19 . 3	1
相模原市史調査報告書 2 動植物調査目録	¥2,400	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書 3 相模原周辺の関東ローマ層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化史	¥1,500	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書 4 相模原市地域の第 4 紀地史研究のための指標テフラ (火山灰)	¥2,300	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書 5 縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H 21 . 3	4
相模原市史調査報告書 6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H 22 . 3	5
相模原市史調査報告書 7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H 23 . 3	3
合 計	¥353,280		185

イ 城山町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
城山町史 1 資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4 . 3	0
城山町史 2 資料編 近世	¥6,000	H 2 . 3	1
城山町史 3 資料編 近現代	¥7,000	H 5 . 3	0
城山町史 4 資料編 民俗	¥5,150	S 63 . 3	1
城山町史 5 通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7 . 3	0
城山町史 6 通史編 近世	¥3,500	H 9 . 3	0
城山町史 7 通史編 近現代	¥3,500	H 9 . 3	0
城山風土記 1 近現代編	¥600	H 3 . 3	1
城山風土記 2 近世文書を読むために	¥700	H 6 . 3	4
城山風土記 3 九十歳の雑記帳	¥600	H 7 . 3	4
城山風土記 4 歴史・民俗編	¥600	H 8 . 8	8
城山風土記 5 町の歩みをふりかえる	¥600	H 9 . 3	3
城山町史資料所在目録 近世文書	¥3,600	S 60 . 3	0
城山町史資料所在目録 近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S 61 . 12	0
城山町史新聞記事目録	¥1,200	S 62 . 3	0
町史の窓 (復刻版)	¥1,100	H 18 . 3	2
合 計	¥25,750		24

ウ 津久井町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
津久井町史 資料編 近世 1	¥2,000	H 16 . 3	2
津久井町史 資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H 19 . 3	2
津久井町史 資料編 近代・現代	¥3,150	H 21 . 2	2
津久井町史 資料編 近世 2	¥3,550	H 23 . 3	2
津久井町史 自然編	¥3,690	H 25 . 3	5
津久井町史 通史編 近世・近代・現代	¥2,720	H 26 . 3	3
津久井町史 通史編 原始・古代・中世	¥2,620	H 28 . 3	4
津久井町史 文化遺産編	¥4,060	H 30 . 3	13
ふるさと津久井 第 1 号	¥1,000	H 12 . 3	完売
ふるさと津久井 第 2 号 特集 山に生きる	¥1,000	H 13 . 3	完売
ふるさと津久井 第 3 号 (特別号) 津久井の古地図	¥1,000	H 14 . 3	完売
ふるさと津久井 第 4 号 特集 養蚕と織物 (1)	¥1,000	H 15 . 9	完売
ふるさと津久井 第 5 号 特集 養蚕と織物 (2)	¥750	H 24 . 3	5
ふるさと津久井 第 6 号	¥820	H 26 . 3	3
ふるさと津久井 第 7 号	¥790	H 29 . 3	5
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」	¥1,700	H 16 . 3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」	¥1,500	H 20 . 3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-

津久井町史調査報告書「津久井町の動物」	¥720	H 25 . 2	0
津久井町史調査報告書「津久井町の気象」	¥1,840	H 25 . 2	0
津久井町史資料目録 公文書 1	¥2,300	H 22 . 3	1
津久井町史資料目録 公文書 2	¥1,700	H 24 . 3	1
津久井町史資料叢書 事務報告 1	¥1,850	H 22 . 3	1
津久井町史資料叢書 事務報告 2	¥1,850	H 22 . 3	1
合 計	¥130,930		50

エ 相模湖町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模湖町史 歴史編	¥14,000	H 13 . 3	3
相模湖町史 民俗編	¥5,600	H 19 . 2	3
相模湖町史 自然編	¥11,550	H 20 . 2	2
合 計	¥81,900		8

オ 藤野町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
藤野町史 資料編上	¥3,000	H 6 . 3	2
藤野町史 資料編下	¥3,000	H 6 . 3	2
藤野町史 通史編	¥4,000	H 7 . 3	1
ふじの町史 研究誌 (第 1 号)	¥600	H 2 . 3	0
ふじの町史 研究誌 (第 2 号)		H 4 . 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第 3 号)	¥600	H 5 . 3	2
ふじの町史 研究誌 (第 4 号)		H 6 . 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第 5 号)	¥600	H 8 . 3	0
合 計	¥17,200		7

(3) 広報活動

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

ウ 放送番組

NHK、J : COM、エフエムさがみなど、博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。また、エフエムさがみレギュラー枠「博物館探検隊」を月 1 回放送した。

エ 博物館資料の博物館外での常設展示

考古資料を史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館、史跡勝坂遺跡公園管理棟、夢の丘小学校、鳥屋出張所に年間を通じて貸出して展示に協力した。

オ 市立図書館の貸出期限票の裏面活用

図書館で資料を貸出す際に手渡す貸出期限票の裏面に博物館のイベントの内容を印刷し、配布を依頼した。

カ 博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどでの発信

各種事業の PR や周知を博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどにより広く発信した。

7 博物館学芸員実習

学芸員資格取得のために実習として、8月1日～9月23日の内実質9日間に18人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	大 学	人 数	分野	大 学	人 数
考古	立正大	1	生物	八州学園大	1
	青山学院大	1		東京農業大	2
	鶴見大	1	地質	桜美林大	1
歴史	昭和女子大	1		静岡大	1
	日本大	1		首都大	1
	青山学院大	1	天文	工学院大	1
民俗	東京学芸大	1		東京工芸大	1
	桜美林大	2		横浜国立大	1

8 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職場体験）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数
4 月	19	1,015	8 月	35	1,166	12 月	40	2,595
5 月	25	1,532	9 月	38	1,173	1 月	19	924
6 月	37	1,740	10 月	48	2,646	2 月	32	1,336
7 月	43	1,708	11 月	73	4,569	3 月	29	1,157
						年計	438	21,561

9 博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用

市内小中学校からの依頼により、学校教材用に博物館資料の貸出しを行った。

（主な貸出しキット）

- ・糸車
- ・炭火アイロン
- ・電気アイロン
- ・火のし
- ・火鉢セット
- ・昭和ってすごい時代体感キット
- ・家電製品の移り変わりキット
- ・兜かぶろうキット
- ・着物体験キット
- ・縄文体験キット

学年	件数
小学校1年	7
小学校2年	0
小学校3年	5
小学校4年	6
小学校5年	1
小学校6年	7
中学校1年	1
中学校2年	0
中学校3年	0
合計	27

10 相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し

相模原市立博物館ボランティアの「市民学芸員」が7年かけて企画・検討を重ね、手作りで作成した「いろはかるた」。

市内緑区から南区まで47ヶ所の名所・旧跡などを紹介したもので、絵札、読み札の他、解説文（日本語、英語）、紹介地マップ付き。

なお、博物館の学習資料展で展示を行い、貸出し開始の報道機関発表を行った。また、『博物館研究報告27集』にも制作経過、句と解説、マップなどを掲載した。

（1）製作

相模原市立博物館ボランティア「市民学芸員」

（2）貸出し件数

学校、保育園、高齢者施設、個人など10件（最大10組、貸出期間は原則1ヶ月以内）

1 1 インターンシップ

相模原市役所職員研修所の依頼により 8 月 1 6 日・1 7 日・1 8 日（高校生のみ）2 4 日（大学生のみ）2 5 日・2 6 日の 6 日間にインターンシップとして受け入れた。

桜美林大学の依頼により同大学学生 1 名を東京都 E C O - T O P インターンとして 2 月 1 7 日～2 7 日の内、5 日間受け入れた。

1 2 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校・高校・他自治体等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した（これに類するものも記載）。

依頼件数 計 7 9 件 聴講者 延べ 3, 8 2 2 人

演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
新採用職員研修「相模原の歴史」	相模原市職員研修所	歴史	4 月 4 日（水）	けやき会館	木村弘樹
相模原市文化財調査・考古普及員考古班講義	相模原市文化財調査・普及員考古班	考古	4 月 12 日（木）	相模原市立博物館	中川真人
相模原市自然環境員制度「第 1 回環境学習セミナー」	環境情報センター	生物	4 月 14 日（土）	相模原市立博物館	秋山幸也
青根の道具と文化、木喰仏	麻布大学いのちの博物館	町史	4 月 21 日（土）	麻布大学いのちの博物館	井上 泰
博物館縄文土器見学会	縄文土器創作講座	考古	4 月 27 日（金）	相模原市立博物館	中川真人
課題研究（学校内の樹木調査）における標本作成指導	県立相原高校環境緑地科 3 年	生物	5 月 11 日（金）	県立相原高校	秋山幸也
東京家政学院大学見学実習	東京家政学院大学	博物館	6 月 2 日（土）	相模原市立博物館	加藤隆志
出張授業「カイコを育てる」	作の口小学校	生物	6 月 5 日（火）	作の口小学校	秋山幸也
出張授業「カイコを育てる」	星が丘小学校	生物	6 月 6 日（水）	星が丘小学校	秋山幸也
出張授業「カイコを育てる」	上溝小学校	生物	6 月 8 日（金）	上溝小学校	秋山幸也
相模原市文化財調査・普及員研修会「相模原市内の古道」	相模原市文化財保護課	民俗	6 月 9 日（土）	総合学習センター	加藤隆志
相模原市文化財調査・普及員考古班講義「幕末維新期の相模原」	相模原市文化財調査・普及員考古班	歴史	6 月 14 日（木）	相模原市立博物館	木村弘樹
出張授業「カイコを育てる」	清新小学校	生物	6 月 15 日（金）	清新小学校	秋山幸也

平成 30 年度 相模原市立博物館 年報

神奈川大学「博物館概論」 見学実習	神奈川大学	博物館	6 月 17 日（日）	相模原市立 博物館	秋山幸也
大野南公民館ふれあい学級 「小田原城について」	大野南公民館	考古	6 月 21 日（木）	大野南公民 館	中川真人
体験活動（岩石収集）	相模川自然の 村野外体験教 室	地質	6 月 22 日（金）	相模川自然 の村野外体 験教室	河尻清和
飯能市立博物館市民学芸員 研修会	飯能市立博物 館	博物館	6 月 28 日（木）	相模原市立 博物館	加藤隆志
出張授業「カイコを育て る」	桂北小学校	生物	6 月 28 日（木）	桂北小学校	秋山幸也
共和の昔をさぐる	共和小学校	歴史	6 月 29 日（金）	国 立 映 画 アーカイブ 相模原分館	木村弘樹
さがみはら地域づくり大学 基礎コース「相模原を知ろ う、学ぼう」	公益社団法人 相模原・町田 大学地域コン ソーシアム	歴史	7 月 4 日（水）	ユニコムプ ラザさがみ はら	木村弘樹
さがみはら地域づくり大学 基礎コース「相模原を知ろ う、学ぼう」	公益社団法人 相模原・町田 大学地域コン ソーシアム	民俗	7 月 4 日（水）	ユニコムプ ラザさがみ はら	加藤隆志
パルテノン多摩「多摩くら しの調査団」企画展見学	パルテノン多 摩	民俗	7 月 6 日（金）	相模原市立 博物館	加藤隆志
初任行政研修派遣研修	相模原市職員 研修所	歴史	7 月 9 日（月）	けやき会館	木村弘樹
大野台こもれび学級「戦国 時代の小田原城」	大野台公民館	考古	7 月 11 日（水）	大野台公民 館	中川真人
津久井城跡市民協働調査講 習会	相模原市文化 財保護課	歴史	7 月 18 日（水）	県立津久井 湖城山公園	井上 泰
大野中ふれあい学級高齢者 学級「市域の民話 照手姫 ほか」	大野中公民館	歴史	7 月 19 日（木）	大野中公民 館	木村弘樹
橋本図書館歴史講座「子ど もでも楽しめる津久井城の おはなし」	橋本図書館	歴史	7 月 25 日（水）	杜のホール はしもと	木村弘樹
神奈川大学「博物館展示学 特論」見学実習	神奈川大学	博物館	8 月 4 日（土）	相模原市立 博物館	秋山幸也
大野南公民館「セミの羽化 観察会」	大野南公民館	生物	8 月 4 日（土）	相模原麻溝 公園	秋山幸也
青根地区地域研修	青根中学校	地質	8 月 26 日（日）	青根地域セ ンター	河尻清和
東京電機大学工学部前期集 中講義「地学実験」	東京電機大学	地質	9 月 2 日（日）	相模原市立 博物館	河尻清和

平成 30 年度 相模原市立博物館 年報

日本城郭史学会セミナー 「津久井城の調査成果」	日本城郭史学会	考古	9 月 15 日 (土)	板橋区志村 グリーンカ レッジホー ル	中川真人
相模原を知る！Ⅰ 室町～ 戦国時代の相模原	東林公民館	歴史	9 月 19 日 (水)	東林公民館	木村弘樹
あさみぞガイド研修会	麻溝まちづくり センター	考古	9 月 22 日 (土)	麻溝周辺	中川真人
相模原を知る！Ⅱ 室町～ 戦国時代の相模原	東林公民館	歴史	9 月 26 日 (水)	相模原市立 博物館	木村弘樹
麻溝さいかち学級「麻溝の 人々のくらし」	麻溝公民館	民俗	9 月 27 日 (木)	麻溝公民館	加藤隆志
「勝坂遺跡の自然と生き 物」	新磯小学校	生物	9 月 27 日 (木)	新磯小学校	秋山幸也
「大地のつくりと変化」	大野小学校	地質	9 月 28 日 (金)	大野小学校	河尻清和
「相模原の中世～近世ま で」	小山公民館	歴史	10 月 3 日 (水)	小山公民館	木村弘樹
新採用職員研修「相模原の 歴史」	相模原市職員 研修所	歴史	10 月 3 日 (水)	けやき会館	木村弘樹
中央公民館高齢者学級「北 条氏と相模原の歴史」	中央公民館	歴史	10 月 4 日 (木)	中央公民館	木村弘樹
旧石器ハテナ館イベント 「川原石のふしぎ」	相模原市文化 財保護課	地質	10 月 6 日 (土)	田名向原遺 跡旧石器時 代学習館	河尻清和
尾崎罌堂について	相模原市橋本 倫理法人会	歴史	10 月 6 日 (土)	橋本倫理法 人会事務所	木村弘樹
上鶴間公民館成人学級「明 治 150 年関連企画展講義と展 示見学」	上鶴間公民館	歴史	10 月 11 日 (木)	相模原市立 博物館	木村弘樹
大沼けやき学級「史跡から 見る相模原の近代史」	大沼公民館	歴史	10 月 18 日 (木)	大沼公民館	木村弘樹
出張授業「木もれびの森に ついて」	大野台小学校	生物	10 月 18 日 (木)	大野台小学 校	秋山幸也
相模原の水と川と人々の暮 らし	東林公民館	民俗	10 月 28 日 (日)	相模原市立 博物館	加藤隆志
大野台公民館科学講座「相 模野台地は火山がつくつ た？！」	大野台公民館	地質	10 月 30 日 (火)	大野台公民 館	河尻清和
わんぱくチャレンジ③「天 体観測にチャレンジ」	上鶴間公民館	天文	11 月 10 日 (土)	鶴園小学校	田子智大 里見聡一
星が丘公民館歴史講座「津 久井城」	星が丘公民館	歴史	11 月 10 日 (土)	星が丘公民 館	木村弘樹
エコロジーデザイン特殊講 義「トコロジストの勧め」	桜美林大学リ ベラルアーツ 学群	生物	11 月 19 日 (月)	桜美林大学	秋山幸也
箱根地域自然に親しむ運動 「箱根の冬鳥観察会」	神奈川県公園 協会	生物	11 月 23 日 (金)	箱根やすら ぎの森	秋山幸也

平成 30 年度 相模原市立博物館 年報

博物館見学実習	神奈川工科大学	博物館	11 月 24 日 (土)	相模原市立博物館	河尻清和
古民家園事業「歩いて知る大島歴史探訪」	相模原市文化財保護課	歴史	11 月 25 日 (日)	古民家園他	木村弘樹
田名公民館「歴史講座 後北条時代の城①」	田名公民館	歴史	12 月 1 日 (土)	田名公民館	木村弘樹
博物館見学実習	桜美林大学	博物館	12 月 1 日 (土)	相模原市立博物館	河尻清和
津久井町史講演会「津久井の祭りと石仏」	津久井生涯学習センター他共催	民俗	12 月 8 日 (土)	津久井生涯学習センター	加藤隆志
勝坂を学ぼう！自然観察「初冬の谷戸で野鳥観察」	相模原市文化財保護課	生物	12 月 9 日 (日)	史跡勝坂遺跡公園	秋山幸也
淵野辺の歴史講習会	相模原市公園課	民俗	12 月 9 日 (日)	相模原市立博物館	加藤隆志
藤野南小学校 6 年生「名倉グラウンド周辺の地層観察」	藤野南小学校	地質	12 月 14 日 (金)	名倉グラウンド周辺	河尻清和
溪松園「相模原の歴史」(相模原にもある幕末・維新期の文化財等)	溪松園	歴史	12 月 20 日 (木)	溪松園	木村弘樹
城エキスポ 2018 津久井城解説対応	相模原市観光協会	歴史	12 月 22 日 (土)	パシフィコ横浜	木村弘樹
公園で冬鳥観察	かながわ森林インストラクター連絡会	生物	1 月 12 日 (土)	県立相模原公園	秋山幸也
生物多様性からみたホテルと相模川	県立上溝南高校	生物	1 月 15 日 (火)	県立上溝南高校	秋山幸也
星空観察教室	陽光台公民館	天文	1 月 19 日 (土)	陽光台公民館	田子智大里見聡一
民具に関する基礎研修	綾瀬市教育委員会	民俗	1 月 24 日 (木)	綾瀬市役所	加藤隆志
田名公民館「歴史講座 後北条時代の城②」	田名公民館	歴史	1 月 26 日 (土)	田名公民館	木村弘樹
名刺のいらない仲間づくり「相模原の移りかわり」	横山公民館	歴史	2 月 1 日 (金)	横山公民館	木村弘樹
大磯高等学校「未来の夢講座」	県立大磯高校	博物館	2 月 1 日 (金)	相模原市立博物館	河尻清和
学習資料展 展示案内解説	愛川町郷土資料館	歴史	2 月 3 日 (日)	相模原市立博物館	木村弘樹
県立津久井湖城山公園ムササビ観察会	NPO 法人暮らし・つながる森里川海	生物	2 月 3 日 (日)	県立津久井湖城山公園	秋山幸也
八王子郷土資料館新館建設に際しての視察	八王子市教育委員会	博物館	2 月 5 日 (火)	相模原市立博物館	加藤隆志
くぬぎ台小学校「くらしを高めるねがい」	くぬぎ台小学校	歴史	2 月 8 日 (金)	くぬぎ台小学校	木村弘樹

城山エコミュージアムのつどい「丹沢衝突！-南から来た海底火山-」	城山公民館	地質	2 月 10 日（日）	城山公民館	河尻清和
新磯魅力発見講座「新磯地区の文化について・・・大風とお盆の行事・・・」	新磯公民館	民俗	2 月 26 日（火）	新磯公民館	加藤隆志
相模川中流の早春探鳥会	かながわみどりトラスト財団	生物	3 月 2 日（土）	相模川（下溝～新戸）	秋山幸也
相模大野図書館歴史探訪「軍都相模原と旧陸軍通信学校関連施設の見学」	相模大野図書館	歴史	3 月 5 日（火）	相模大野図書館・相模女子大学	木村弘樹
ふじの里山ウォーキング	ふじの里山くらぶ	歴史	3 月 30 日（土）	藤野澤井周辺	木村弘樹
平塚市立博物館春期特別展講演会「民具を調べて分かること」	平塚市立博物館	民俗	3 月 31 日（日）	平塚市立博物館	加藤隆志

13 JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」

JAXA相模原キャンパス内の宇宙科学探査交流棟内に博物館紹介コーナーを設置し、出張展示等を行っている。また、交流棟と博物館をまたぐスタンプラリーも行っている。

No.	時代	資 料	遺跡名	図	出土位置	報告書
1	旧石器	槍先形尖頭器	淵野辺嶽之内下遺跡	33-643	L1H 層 P2 ブロック	吾妻考古学研究所 2010『淵野辺嶽之内下遺跡』
2	縄文	土偶	淵野辺山王平遺跡	69-53	16 号住居址	玉川文化財研究所 1998『山王平遺跡－縄文時代編－』
3	縄文	土偶	淵野辺山王平遺跡	87-10	21 号住居址	玉川文化財研究所 1998『山王平遺跡－縄文時代編－』
4	縄文	縄文土器	淵野辺山王平遺跡	117-1	32 号住居址埋甕	玉川文化財研究所 1998『山王平遺跡－縄文時代編－』
5	縄文	縄文土器	淵野辺山王平遺跡	153-4	43 号住居址	玉川文化財研究所 1998『山王平遺跡－縄文時代編－』
6	縄文	縄文土器	淵野辺山王平遺跡	201-50-1	50 号土坑	玉川文化財研究所 1998『山王平遺跡－縄文時代編－』
7	縄文	縄文土器（釣手）	淵野辺嶽之内上遺跡	16-11	J3 号住居址	相模原市 No.51 遺跡発掘調査団 2004『淵野辺嶽之内上遺跡』

14 市民との協働

（1）市民学芸員

ア 内 容 平成30年度は47名の方が登録され、学習資料展の企画・準備と関連事業運営、クイズラリーの企画・運営、星空観望会補助等を実施した。また、有志にて常設展示「自然・歴史展示室」の展示替えに向けての検討や一部キャプションなどの修正、ふるさといろはかるた制作、紙芝居の実演、学習カード作成を行った。

イ 登録者 47 人
ウ 参加者 延べ 963 人

(2) さがみはら水生動物調査会

ア 内 容 相模原市内での水生動物の調査や講師派遣への協力を行った。
イ 登録者 24 人
ウ 参加者 延べ 50 人

(3) 相模原植物調査会

ア 内 容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、中学生の職業体験や博物館実習生の標本取扱い等の指導を行った。
イ 登録者 65 人
ウ 参加者 延べ 380 人

(4) 相模原地質研究会

ア 内 容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を博物館と協働で行った。
イ 登録者 18 人
ウ 参加者 延べ 105 人

(5) 相模原縄文研究会

ア 内 容 市内の縄文時代などの遺跡の調査と資料整理を行った。また、学びの収穫祭や考古企画展関連事業として、ワークショップや活動紹介を博物館と協働で行った。
イ 登録者 12 人
ウ 参加者 延べ 345 人

(6) 民俗調査会

ア 内 容 緑区藤野地区や綾瀬市・小田原市をはじめ、柏尾通り大山道など、テーマを定めて市内外のフィールドワークを行い、地域のさまざまな文化遺産や民俗を見学した。
イ 登録者 24 人
ウ 参加者 延べ 266 人（毎月実施しているフィールドワーク他の参加人数）

(7) 水曜会

ア 内 容 旧津久井郷土資料室に保管されていた鈴木重光氏が寄贈した資料のうち、未整理のものについての目録化などの作業を継続的に行った。
イ 登録者 19 名
ウ 参加者 延べ 470 人（毎月 2～3 回程度実施している作業等に参加した人数）

(8) 相模原市立博物館天文クラブ

ア 内 容 博物館と協働して、月面等の写真撮影及び資料化、身近に起きる天文現象の記録と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を行った。
イ 登録者 35 人
ウ 参加者 延べ 55 人（計 13 回実施された天体写真撮影及びその内容の記録化、資料化へ参加した人数）

(9) 福の会

ア 内 容 大型・生活資料収蔵庫の受入番号や配架番号等の確認などの再整理作業及び、博物館に移動した旧津久井郷土資料室所蔵資料の確認作業を実施した。
イ 登録者 9 名

ウ 参加者 延べ 184 人（毎月 2 回程度実施している作業に参加した人数）

（10）さがみはら動物標本クラブ

ア 内 容 博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。

イ 登録者 23 人

ウ 参加者 延べ 58 人

（11）尾崎行雄を全国に発信する会

ア 内 容 平成 28 年度で協働事業が終了した尾崎弔堂記念館の普及事業については、平成 29 年度から尾崎行雄を全国に発信する会に企画・運営を委託し、「尾崎弔堂記念館展示・普及事業」を行っている。平成 30 年度は、企画展「資料で見る明治期の尾崎弔堂」や、近現代史講演会として、尾崎弔堂と関わりの深い「大隈重信」と「犬養毅」について外部講師を招き開催した。

（12）NPO 法人ふじの里山くらぶ

ア 内 容 平成 27 年度に協働事業が終了した吉野宿ふじやの普及事業については、「吉野宿ふじや活性化事業」をプロポーザル方式で選定した「ふじの里山くらぶ」に平成 30 年度も企画・運営を委託し、「藤野の養蚕」展などの企画展や関連事業等を開催した。

IV 資料管理

1 博物館収蔵資料点数

博物館 館内収蔵資料点数リスト

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (H31. 3. 31現在)	単位
考 古	考古資料	考古資料収蔵庫	6,569	箱
		自然・歴史展示室	898	点
		他館等長期貸出資料	634	点
	分野 計		8,101	箱/点
歴 史	歴史資料	古文書収蔵庫	7,855	点
		生活資料収蔵庫	1,209	点
		特別収蔵庫	61,862	点
		自然・歴史展示室	126	点
	軍事資料	生活資料収蔵庫	1,637	点
		自然・歴史展示室	34	点
	古文書等市史資料 (旧役場文書は除く)	古文書収蔵庫	3,322	点
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,742	点
	購入資料	特別収蔵庫	112	点
	地図・写真資料	図面保管庫	5,911	点
	分野 計		103,810	点
民 俗	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫 大型資料収蔵庫	22,881	点
		自然・歴史展示室	141	点
		他館等長期貸出資料	36	点
	分野 計		23,058	点
地 質	化石資料	地質資料収蔵庫等	203	点
		自然・歴史展示室	50	点
	岩石・鉱物資料等	地質資料収蔵庫等	3,340	点
		自然・歴史展示室	34	点
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	7,046	点
		自然・歴史展示室	12	点
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	191	点
	砂礫等資料	地質資料収蔵庫等	695	点
		自然・歴史展示室	5	点
	剥ぎ取り資料	地質資料収蔵庫等	45	点
		自然・歴史展示室	4	点
分野 計		11,625	点	

平成 30 年度 相模原市立博物館 年報

動 物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点
		自然・歴史展示室	16	点
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	38,813	点
		自然・歴史展示室	18	点
	小動物等	液浸標本収蔵庫等	2,631	点
		自然・歴史展示室	14	点
	鳥類	動植物資料収蔵庫等	201	点
		自然・歴史展示室	40	点
	哺乳類	動植物資料収蔵庫等	30	点
		自然・歴史展示室	4	点
分野 計			41,807	点
植 物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	56,286	点
		自然・歴史展示室	21	点
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点
	分野 計			56,450
天 文	天文資料	フィルム収蔵庫	2,109	点
		天文展示室	21	点
	分野 計			2,130
合 計			246,981	点

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品（文化振興課扱）

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (H31.3.31現在)	単位
美 術 品	絵画	美術品収蔵庫	417	点
	書	美術品収蔵庫	56	点
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点
	写真	フィルム収蔵庫	2,112	点
合 計			2,587	点

館内収蔵市史資料

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (H31.3.31現在)	単位
市史資料	行政資料 (旧役場文書)	古文書収蔵庫	600	点

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

分 野	分 類	施設名	収蔵点数 (H31. 3. 31現在)	単位
考 古	考古資料	藤野第 2 資料保管庫	411	箱
		城山郷土資料保管庫	309	箱
		吉野宿ふじや	75	箱/点
	分野 計		795	箱/点
歴 史	歴史資料	尾崎罌堂記念館	3,816	点
		小原本陣・小原の郷	254	点
		城山郷土資料保管庫	95	箱
		吉野宿ふじや	669	点
	分野 計		4,834	箱/点
民 俗		小原本陣・小原の郷	401	点
		城山郷土資料保管庫	850	点
		吉野宿ふじや	1,470	点
	分野 計		2,721	点
動 物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点
合 計			8,465	

博物館関係施設別一覧

施 設	分 野	分 類	収蔵点数 (H31. 3. 31現在)	単位
藤野第 2 資料保管庫	考古	考古資料	411	箱
尾崎罌堂記念館	歴史	歴史資料	3, 816	点
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	点
	民俗・地理	民俗生活資料	401	点
	施設 計		655	箱/点
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	309	箱
	歴史	歴史資料	95	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	850	点
	施設 計		1, 254	箱/点
吉野宿ふじや	考古	考古資料	75	点
	歴史	歴史資料	669	点
	民俗・地理	民俗生活資料	1, 470	点
	動物	昆虫類	115	点
	施設 計		2, 329	点
合 計			8, 465	

博物館資料に関する図書等

博物館	図書	市民研究室等	38,928	点
	ビデオ・CD-ROM、DVDソフト	情報サービスコーナー	405	点
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,814	点
	分野 計		43,147	点

2 収集・整理

分野	内 容
考古	発掘調査報告書刊行済の出土品の移管及び埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）、寄贈寄託考古資料の整理作業
歴史	寄贈・寄託（予定含む）歴史資料の分類整理、尾崎行雄(号堂)関係資料の分類整理、旧津久井郷土資料室所蔵紙資料の整理
民俗	収蔵資料のカード及び収蔵番号の整備、旧津久井郷土資料室所蔵資料の確認等の諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館等から送付された刊行物の整理

3 有害生物管理の実施

（１）受入れ資料のくん蒸

殺菌、殺虫、殺卵のため、ガス薬剤（エキヒューム）を用いた定期的なくん蒸を実施した。洗浄乾燥室において２回、受入れ資料を対象に、被覆法により定期的なくん蒸を実施した。特別収蔵庫・古文書収蔵庫・美術品収蔵庫を１回、収蔵資料を対象に密閉くん蒸を実施した。

（２）有害生物調査

７月～１０月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

4 資料の特別利用

利用総件数 127件（平成30年度中に利用申請されたもの）＜申請日順＞

申請者	利用区分	利用目的	利用期間	分野	利用資料
個人	閲覧	調査研究	4/4	歴史	上溝小山家寄託資料
個人	撮影・閲覧	調査研究	4/15	考古	橋本遺跡出土品ほか
個人	閲覧	調査研究	4/19	歴史	昭和3年相原村全図
個人	閲覧・模写	調査研究	4/19	歴史	上鶴間渋谷勝正家 谷口村検地帳
跡部踊り念仏保存会	写真データ利用	映像作成	5/1～5/31	歴史	一遍上人立像レプリカ写真データ
榊童夢	写真データ利用	出版掲載	5/11～6/11	民俗	タライと洗濯板の写真データ
個人	閲覧・模写複写	調査研究	5/12	歴史	3000分の一地図（南大野）ほか
瑞穂町郷土資料館けやき館	写真データ利用	展示	7/14～9/9	考古	田名向原遺跡住居状遺構写真データ
個人	撮影・出版掲載	調査研究	5/16～7/31	民俗	柳田國男関係資料
個人	閲覧・撮影	調査研究	5/17	歴史	昭和48年地図、昭和43、49航空写真
NHK大阪放送局制作部	写真データ利用	番組制作	7/25～7/26	考古	大日野原遺跡出土土器
IVSテレビ制作㈱	写真データ利用	番組制作	6/16～	民俗	洗濯板とたらい、一層式洗濯機
神奈川県立歴史博物館	撮影・館外貸出	出版掲載	6/21～10/26	歴史	鈴木重光氏資料花やしきパンフレット
相模原市文化財保護課	館外貸出	普及事業	6/8～7/8	考古	顔面把手レプリカ
大野台公民館	館外貸出・複写	出版掲載	6/7～7/1	歴史	市史現代図録編掲載写真計5枚
個人	閲覧・撮影	調査研究	6/14	歴史	福田家文書 マイクロ写し
武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	閲覧・撮影	調査研究	6/15	考古	勝坂遺跡第45次調査出土品
個人	閲覧	調査研究	6/15	歴史	笹野ハル家文書他 マイクロ写し
大野台公民館	館外貸出・複写	出版掲載	6/15～7/1	歴史	市史現代図録編掲載写真1枚
神奈川県立相模湖交流センター	閲覧	調査研究	6/17	歴史	鈴木重光絵はがき資料
安城市歴史博物館	撮影	調査研究	6/19	歴史	故笹野邦一氏資料

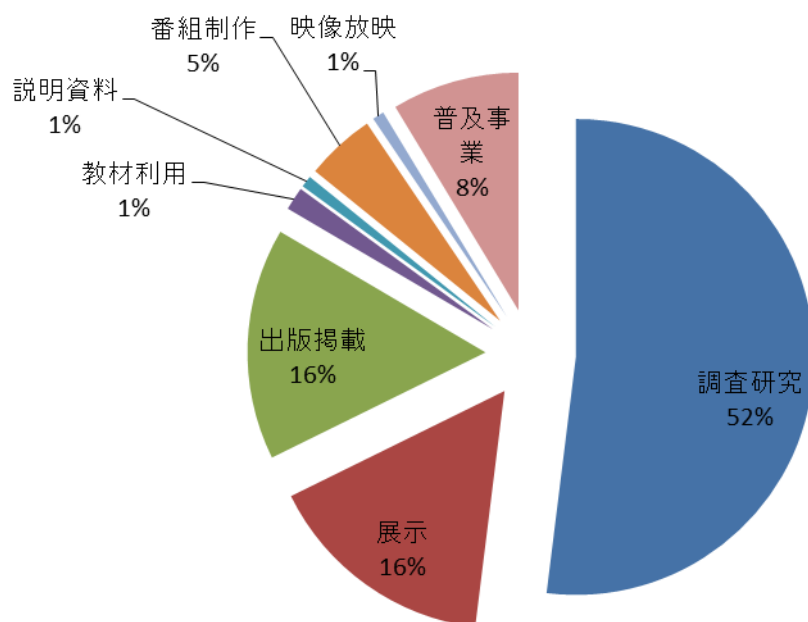
平成 30 年度 相模原市立博物館 年報

国立歴史民俗博物館	館外貸出・出版掲載	展示	7/23～3/31	考古	田名向原遺跡出土品
東京国立博物館	館外貸出	展示	9/22～12月末	考古	大日野原遺跡出土土偶裝飾付土器
武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	撮影・館外貸出	展示	7/10～10/10	考古	勝坂遺跡出土縄文時代草創期遺物
神奈川県立相模湖交流センター	閲覧	調査研究	6/26	歴史	鈴木重光絵はがき資料
神奈川県立相模湖交流センター	館外貸出	展示	7/7～7/28	歴史	鈴木重光絵はがき資料
滋賀県立琵琶湖博物館	撮影・出版掲載	出版掲載	10/1	歴史	田名村江成家文書
個人	閲覧	調査研究	7/6	歴史	相原村小川家文書(マイクロ)
(公財)馬事文化財団	館外貸出	普及事業	8/10～8/18	民俗	自転車(紙芝居舞台・拍子木含む)
相模原市立史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	館外貸出	普及事業	8/10～8/14	考古	上中丸遺跡出土耳飾ほか
個人	閲覧・撮影	調査研究	7/15	歴史	旧相原村役場資料
個人	閲覧・撮影	調査研究	7/15	歴史	上鶴間周辺地形図、航空写真
相模原市立史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	写真データ利用	普及事業	9/15	考古	真脇式土器、クルミ形土器
地域ブランディング研究所	写真データ利用	出版掲載	7/26	歴史	清兵衛新田 開墾記念碑、開拓農家
㈱河出書房新社	出版掲載	出版掲載	10/1	考古	勝坂有鹿谷祭祀遺跡出土品
史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	写真データ利用	出版掲載	8/9	考古	田名向原遺跡住居状遺構写真データ
個人	閲覧	調査研究	8/5	歴史	昭和30年地形図ほか
個人	写真撮影	調査研究	8/7	歴史	幕末期拳銃(機部遠藤家寄贈資料)
相模原市文化財保護課	館外貸出	普及事業	8/9～8/17	考古	顔面把手レプリカ
個人	閲覧・撮影	調査研究	8/10	歴史	田名田所(哲)家、半在家文書
個人	閲覧	調査研究	8/11	歴史	当麻村向得寺文書(マイクロ)
個人	閲覧・複写	調査研究	8/15	歴史	当麻村向得寺文書(マイクロ)
岩宿博物館	撮影・館外貸出	展示	8/28～1/18	考古	風間遺跡群出土石器
個人	閲覧・撮影	調査研究	8/16	歴史	佐藤和夫家寄託資料
(公財)郡山市文化・学び振興公社 大安場史跡公園	閲覧・撮影	展示	8/23	考古	下原遺跡出土土器
個人	閲覧	調査研究	8/30	歴史	矢島常彦氏寄贈資料(マイクロ)
個人	閲覧・撮影・掲載	調査研究	8/30	民俗	ミキノクチ
個人	閲覧・撮影	調査研究	8/31	歴史	津久井郷土資料室旧蔵資料(相模湖関係/パンフレット)
個人	閲覧	調査研究	8/31	歴史	上溝佐藤和夫家 新都振興会関係
杉の子自治会	館外貸出	出版掲載	9/1～9/22	市史	市史現代図録編掲載写真(2点)
個人	閲覧・撮影	調査研究	9/4	歴史	相原村村会資料、矢島常彦氏寄贈資料
個人	閲覧・撮影	調査研究	9/5	考古	橋本遺跡出土品
個人	閲覧・複写	調査研究	9/5	歴史	通信学校施設配置図
個人	閲覧	調査研究	9/7	歴史	上溝村金子光江家資料
個人	撮影	調査研究	9/19	生物	アサギマダラ
個人	閲覧・撮影・複写	調査研究	9/20	歴史	迅速測図(上溝)ほか
個人	閲覧・撮影	調査研究	9/20	歴史	相原村村会資料、小川忠久家寄託資料
相模原市文化財保護課	館外貸出し	展示	10/2～3/31	考古	田名塩田遺跡群出土品
個人	閲覧・撮影	調査研究	10/3	歴史	新磯村・麻溝村役場文書
(公財)郡山市文化・学び振興公社 大安場史跡公園	館外貸出し	展示	10/17～12/11	考古	下原遺跡出土土器
個人	閲覧・撮影	調査研究	9/28	歴史	田所哲男家・田所茂次家資料
相原の歴史をさぐる会	閲覧・撮影	調査研究	9/28	歴史	相原小川家、吉川家寄託資料(承諾済)
個人	閲覧・撮影	調査研究	10/4	考古	当麻亀形遺跡ほか出土品
個人	閲覧	調査研究	10/14	歴史	新戸石川家寛文2年検地帳
安城市歴史博物館	館外貸出し・図録掲載	展示	11/10～1/31	歴史	故笹野邦一氏資料(日記、鎖帷子等)
㈱柊風舎	市史刊行物の複写	出版掲載	11/15	市史	『相模原市史民俗編』図3-14、図3-15
相模原市文化財保護課	出版掲載	出版掲載	11/1～	考古	田名塩田遺跡群出土品ほか
相模原市都市建設総務室	撮影	説明資料	10/24	歴史	相模原土地区画整理地区現形並予定図
個人	閲覧・撮影	調査研究	10/25	考古	橋本遺跡出土品
㈱有隣堂	写真データ利用	出版掲載	1/10～3/10	民俗	江島本宮岩屋弁才天像他
個人	閲覧・複写	調査研究	11/4	歴史	当麻村向得寺文書(マイクロ)
相模湖町ふるさとまつり内郷会場実行委員会	館外貸出し	展示	11/7～11	民俗	柳田國男手紙・鈴木家年中行事表
個人	閲覧・撮影	調査研究	11/7	歴史	相原村役場資料 雑書綴り
個人	閲覧・撮影	調査研究	11/8	民俗	当麻市場講中記録
法政大学多摩地域交流センター	館外貸出し	展示	11/11～11	民俗	城山旧給食センター内の田下駄、田舟
相模原市相模川ビレッジ若あゆ	館外貸出し	教材利用	11/10～11/17	民俗	千齒こき
㈱ネクサス	写真データ利用	番組制作	11/26	考古	勝坂式土器
相模原市立公文書館	館外貸出し	展示	12/4～4/9	歴史	給食サンプル、給食関係資料(紙)
個人	閲覧・撮影	調査研究	11/15	歴史	南津鉄道関係資料(相原村役場資料)
㈱吉川弘文館	写真データ利用	出版掲載	11/20～11/30	考古	田名向原遺跡住居状遺構写真
相模原市立大島小学校	館外貸出し	教材利用	11/24～12/1	地質	大島団地敷地地調ボーリングコア
(公財)横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター	写真データ利用	普及事業	2/8	考古	勝坂有鹿谷祭祀遺跡出土品写真
個人	撮影・複写	調査研究	11/30	歴史	上溝迅速測図、昭和38年麻溝地形図
八王子市郷土資料館	閲覧・撮影	調査研究	12/5	民俗	百日咳除け杓文字
個人	閲覧・撮影	調査研究	12/6	民俗	双体道祖神塔
個人	閲覧・撮影	調査研究	12/9	歴史	相原村河津家皇国地誌
相模原市文化財保護課	出版掲載	出版掲載	2/1	考古	勝坂遺跡D区出土品ほか
相模原市文化財保護課	写真データ利用	普及事業	12/20～12/24	考古	津久井城階段状遺構、石敷遺構他

平成 30 年度 相模原市立博物館 年報

個人	閲覧・複写	調査研究	12/21	歴史	旧陸軍地形図
個人	閲覧・複写	調査研究	12/23	民俗	地神講他掛軸
個人	閲覧・複写	調査研究	12/23	民俗	地神講他掛軸
個人	閲覧・複写	調査研究	12/24	歴史	向傳寺文書麻山集ほか(マイクロ写し)
相模原市立史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	館外貸出し	普及事業	1/24～1/29	考古	縄文土器
公文書館	撮影	調査研究	1/10	歴史	麻溝村役場資料陸軍練兵場関係
㈱吉川弘文館	写真データ利用	出版掲載	1/18～1/31	考古	田名向原遺跡住居状遺構写真
国立歴史民俗博物館	館外貸出し	展示	4/1～3/31	考古	田名向原遺跡出土品
個人	閲覧	調査研究	1/16	歴史	下九沢久保田家・笹野家ほか資料(マイクロ)
相模原市文化財保護課	館外貸出し	普及事業	1/19	考古	勝坂遺跡マメ圧痕土器
個人	閲覧	調査研究	1/19	歴史	相原村役場資料
個人	複写	調査研究	1/20	歴史	昭和14年相模原地図
個人	閲覧	調査研究	1/24	歴史	淵野辺小川家、田名江成家マイクロ
座間市教育委員会生涯学習課	引用	出版掲載	2/1～3/29	歴史	久保田恭子家・福田弘夫家資料ほか
㈱パワープランナー	写真データ利用	出版掲載	2/1～	歴史	一層式洗濯機写真(HPより転載)
個人	閲覧・撮影	調査研究	2/2	考古	勝坂遺跡顔面把手レプリカ
相模原市立史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	館外貸出し	普及事業	2/13	考古	古淵B遺跡出土品
相模原市文化財保護課	撮影・出版掲載	出版掲載	2/8	歴史	小原宿本陣敷地建物配置図
平岡幼稚園	撮影	調査研究	2/8	生物	昆虫乾燥標本 ミナミアオカメムシ
個人(大学教員)	館外貸出し	調査研究	2/13～3/1	地質	テフラ
神奈川県知事室	撮影	番組制作	3/1	歴史	常設展示近代上溝展示資料
個人	撮影・出版掲載	調査研究	2/21	考古	下中丸遺跡B区出土品
国立民族学博物館	館外貸出し	展示	4/1～3/31	民俗	鍬ほか
相模原市立公文書館	出版掲載	出版掲載	3/7～3/31	歴史	麻溝村役場資料陸軍練兵場関係
相模原市文化財保護課	館外貸出し	普及事業	3/7～3/10	考古	勝坂遺跡ほか出土品
個人	撮影	調査研究	3/12	民俗	ワサビ作り道具二点
(公財)神奈川県公園協会 津久井湖城山公園	館外貸出し	展示	4/1～3/31	考古	津久井城跡本城曲輪群出土遺物
(公財)神奈川県公園協会 津久井湖城山公園	写真データ利用	展示	4/1～3/31	考古	津久井城発掘調査等写真
テレビ神奈川	番組利用	番組制作	3/17	歴史	境川の増水状況、さがぼん画像
宇宙航空研究開発機構(JAXA)	館外貸出し	展示	4/1～3/31	考古	山王平遺跡出土品
個人	撮影	調査研究	3/21	市史	石造物調査票
個人	複写	調査研究	3/22	市史	昭和42～50年度委員会書類「戦車走行試験についての要望」
㈱ティーズ「昼めし旅」	写真データ利用	番組制作	3/26	民俗	養蚕(糸取り)写真
個人	撮影	出版掲載	3/27	市史	市史現代図録掲載写真「橋本の町並み」
相模原市文化財保護課	館外貸出し	展示	4/1～3/31	考古	勝坂遺跡D区出土品
相模原市文化財保護課	館外貸出し	展示	4/1～3/31	考古	田名向原遺跡出土品ほか
個人	撮影	調査研究	3/29	歴史	上九沢笹野金次家資料マイクロ写
個人	閲覧	調査研究	3/30	歴史	国土地理院 地形図
個人	閲覧・複写	調査研究	3/31	歴史	ナベトロ関連の調査研究

博物館資料特別利用の件数



利用目的	件数
調査研究	66
展示	20
出版掲載	20
教材利用	2
説明資料	1
番組制作	6
映像放映	1
普及事業	11
合計	127

5 JAXA 宇宙科学研究所からの借用物

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	火星探査機「のぞみ」1/1 模型	H28. 6. 1		エントランス
2	「はやぶさ」1/1 模型	H29. 9. 11		エントランス
3	大西宇宙飛行士が ISS へ持ち込んだ、「はやぶさ 2」と小惑星リュウグウの模型	H29. 8. 26		エントランス
4	M-V5 号機 1/50 模型	不明		天文展示室
5	イオンエンジン μ 10 模型	H30. 6. 8		天文展示室
6	カーボングリッド	H30. 6. 8		天文展示室
7	「あけぼの」1/5 模型	H30. 7. 21		天文展示室
8	「はやぶさ」に搭載されたバッテリー（エンジニアリングモデル）	H30. 7. 21	H30. 9. 5	
9	H-IIA ロケット 1/100 模型	H30. 7. 21	H30. 9. 5	
10	イオンエンジン YOSHINO-1	H30. 7. 21	H30. 9. 5	
11	スラスターノズル形状モデル（実験用）	H30. 7. 21	H30. 9. 5	
12	20N スラスター	H30. 7. 21	H30. 9. 5	
13	500N スラスター	H30. 7. 21	H30. 9. 5	
14	IKAROS1/20 模型	H30. 7. 21	H30. 9. 5	
15	「みお」1/10 模型	H30. 7. 21	H30. 9. 5	
16	「みお」中利得アンテナ設計段階モデル	H30. 7. 21	H30. 9. 5	
17	「みお」高利得アンテナ設計段階モデル	H30. 7. 21	H30. 9. 5	

・その他物品

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	ブックスタイル説明台	H9. 4. 1		エントランス
2	はやぶさ2のぼうけん日誌台	不明		天文展示室
3	スタンプラリー台（はやぶさ）	H30. 2. 2		エントランス
4	スタンプラリー台（いんせき）	H30. 2. 2		天文展示室
5	「はやぶさ」パネル類（3点）	H29. 9. 11		エントランス

6 全国博物館連携協議会からの借用物

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	星の衝突で、何ができた？ ～月のうさぎと私たちの地球～	H30. 9. 21	H30. 10. 21	
2	2018年ノーベル賞	H30. 11. 27	H31. 3. 31	

V 調査研究

分 野	内容と成果
考 古 (中川 真人)	津久井城跡の発掘調査を実施したほか、勝坂遺跡出土の植物種子圧痕土器の資料調査、古代灯明皿の燈油燃料に係る資料調査を行い、資料調査成果は研究報告第 27 集に掲載した。その他、寄託資料である大日野原遺跡出土の縄文土器の資料調査報告書を刊行した。
民 俗 (加藤 隆志)	企画展の開催準備に際して、市内の民俗に関する写真について再調査するとともに、過去に実施された調査データの再確認や整備を実施した。
歴 史 (木村 弘樹)	市域の中世史、幕末・維新史、軍都関係等について調査し、講座・探訪企画展などを開催した。また、尾崎罌堂関係や寄贈資料の整理を進め、尾崎罌堂関係の寄贈・寄託資料について研究報告第 27 集に掲載した。
生 物 (木村 知之) (秋山 幸也)	市内の動植物相調査を実施し、その中で明らかになった市内に生育・生息する絶滅危惧生物の保全、増殖事業を近隣大学等と連携しながら実施した。
地 質 (河尻 清和)	相模原市内および相模川・桂川流域の地形地質調査を実施し、石老山周辺の調査結果の一部を研究報告第 27 集に掲載した。関東平野西縁部の調査を首都大学東京と合同で実施した。
天 文 (田子 智大) (里見 聡一)	小惑星探査機「はやぶさ 2」に関連した日本の太陽系探査について調査研究を行い、企画展の展示に生かした。

※検討会委員等の派遣

八王子市市史編集専門部会委員	加藤 隆志
国土交通省相模川ふれあい懇談会世話人	秋山 幸也
国土交通省宮ヶ瀬湖河川水辺の国勢調査アドバイザー	秋山 幸也
神奈川県丹沢大山自然再生委員会委員	秋山 幸也
神奈川県レッドリスト委員会植物・菌類部会委員	秋山 幸也

Ⅵ 市史・町史編さん

1 相模原市史・津久井町史

(1) 市史編さん審議会

ア 趣旨 市史編さんに関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する附属機関。委員 10 人。事務統合のため平成 22 年度から津久井町史についても取り扱うこととした。

イ 委員構成（任期 2 年）

平成 29 年 7 月 31 日～平成 31 年 7 月 30 日

◎会長 ○副会長

	氏 名	備 考	選出区分
	岡田 万里子	桜美林大学准教授	学識経験者
	高村 敦子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者
	千葉 宗嗣	公募委員	市の住民
	中島 聡	公募委員	市の住民
○	中村 洋子	大野南公民館長	学識経験者
	長澤 敬子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者
	奈良 雅之	元相模湖町立北相中学校長	学識経験者
◎	樋口 雄一	元神奈川県公文書館郷土資料課長	学識経験者
	守屋 浩之	津久井湖城山公園自然環境に関する連絡会委員	学識経験者
	矢野 英明	元帝京大学教職大学院客員教授	学識経験者

※平成 30 年 3 月にて刊行物の刊行が終了したため、現在の任期末の翌日を以て廃止の予定

ウ 活動状況

回	開催日	主な内容
1	8 月 8 日（水）	（1）平成 29 年度及び平成 30 年度市史・町史編さん事業の実施状況について （2）相模原市史続編及び津久井町史の刊行終了について （3）その他

(2) 市史編集委員会

ア 趣旨及び委員構成

市史の編集方針及び執筆内容を検討する委員会。任期 2 年、委員 10 人

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7 月 27 日（金）	（1）平成 29 年度及び平成 30 年度市史・町史編さん事業の実施状況について （2）相模原市史続編の刊行終了について （3）その他

(3) 専門部会の活動状況

近現代部会

ア 部会の開催

開催日 6 月 2 日（土） 別編の反省、市史講演会について、市史続編全体についての反省・意見等

(4) 普及事業

ア 市史講演会 相模原市史続編の編さんとその成果－近・現代史を中心に

実施日 10 月 7 日（日）

講 師 浜田 弘明（桜美林大学教授）

- ※詳細は、講座・講演会の欄（（23）20頁）に記載
- イ 市史ミニ展示の開催
※詳細は、講座・講演会の欄（（35）22頁）に記載
- ウ 町史講演会 津久井町史講演会 津久井の歴史に触れる（全3回）
※詳細は、講座・講演会の欄（（30）21頁）に記載
- エ 市史・町史刊行物の販売
博物館、公文書館、行政資料コーナー、相模原市書店協同組合加盟店（11店舗）で販売

VII 博物館所管施設

1 尾崎罌堂記念館（緑区又野）



尾崎罌堂記念館は、「憲政の神様」といわれた尾崎行雄（罌堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和 33 年 1 月に、「尾崎罌堂うまれ地記念事業委員会」によって建設された。

昭和 33 年度に旧津久井町に寄贈され、平成 18 年 3 月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

平成 28 年 2 月、協働事業提案制度事業で常設展示をリニューアルした。

（1）施設概要

ア 住 所	相模原市緑区又野 691 番地
イ 電話 番 号	042-784-0660
ウ 延べ床面積	229.62㎡
エ 建 物 構 造	木造 1 階建て

（2）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩でできた高さ 3 メートル、幅 50 センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行ハみな善事之をへらす言行ハみな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、罌堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和 46 年に現在の場所に移設された。

（3）罌堂桜・里帰り桜

尾崎行雄が東京市長在職中の明治 45 年、米国ワシントンのポトマック公園に 3,000 本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど 4 品種の桜苗木を『罌堂桜』と命名、その内の『普賢象』1 本が平成 4 年、記念館の庭に植樹された。

また、平成 24 年には桜寄贈 100 周年を記念し、新たな里帰り桜『ソメイヨシノ』1 本が有志により植栽された。

（4）企画展・講演会

尾崎行雄を全国に発信する会への委託事業「尾崎罌堂記念館展示・普及事業委託」として、次の事業を開催した。

①明治 150 年&尾崎罌堂生誕 160 年記念展「資料で見る明治期の尾崎行雄」

ア 内 容	明治 150 年、尾崎行雄（罌堂）生誕 160 年を記念した企画展であり、実物資料を中心に明治期の尾崎罌堂について紹介した。
イ 期 間	7 月 14 日（土）～9 月 2 日（日）
ウ 会 場	尾崎罌堂記念館

エ 来場者 延べ 205 人
オ 関連事業 展示解説&ギャラリートーク
日 時 7月16日(月・祝)、8月25日(土)
講 師 尾崎行雄を全国に発信する会会員
当館学芸員
参加人数 延べ 27 人

②尾崎弔堂記念館 近現代史講演会①「大隈重信の活躍」

ア 内 容 尾崎弔堂と関わりがあった政治家である「大隈重信」についての講演会を開催した。
イ 実施日 10月13日(土)
ウ 参加者 42人
エ 場 所 尾崎弔堂記念館
オ 講 師 大日方 純夫(早稲田大学 大学史資料センター所長)

③尾崎弔堂記念館 近現代史講演会②「尾崎行雄の盟友『憲政の神』犬養毅の人と生涯」

ア 内 容 尾崎弔堂とともに護憲運動を行うなど、非常に深い関わりがある「犬養毅」に関する講演会を開催した。
イ 実施日 2月23日(土)
ウ 参加者 40人
エ 会 場 尾崎弔堂記念館
オ 講 師 小山 俊樹(帝京大学教授)

2 吉野宿ふじや(緑区吉野)



吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩(諏訪藩)の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治29年の大火で焼失し、現在の建物は明治30年頃に建てられたものと言われている。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成18年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道20号改良工事(歩道設置)に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成25年7月2日にリニューアルオープンし、平成26年4月1日には町家遺構としての見地から市登録有形文化財に登録された。

(1)施設概要

ア 住 所 相模原市緑区吉野214番地
イ 電 話 番 号 042-687-5022
ウ 延べ床面積 392.51㎡
エ 建 物 構 造 木造3階建て

(2) 企画展

平成 29 年度に提案型プロポーザル方式で選定した NPO ふじの里山くらぶへ委託した「吉野宿ふじや活性化事業」を平成 30 年度も次のとおり実施した。

① 吉野宿ふじや 「吾が心の山ー山岳写真家三宅修の踏み跡」

- ア 内 容 緑区吉野在住で山岳写真家として活躍されている三宅修氏の写真や著書などを展示した。
- イ 期 間 4月29日(日・祝)～6月10日(日)
- ウ 会 場 吉野宿ふじや
- エ 来場者 延べ 880人
- オ 関連事業 ギャラリートーク(全2回)
日 時 5月6日(日)、6月10日(日)
参加者 延べ 87人

② 吉野宿ふじや 「藤野の昔の産業展」

同時開催 博物館出張展示「宇宙展」

- ア 内 容 かつて藤野で盛んだった産業「炭焼き」と「養蚕」に関する展示を行った。また、博物館出張展示として、小惑星探査機「はやぶさ」や7・8月の天文現象も紹介した。
- イ 期 間 7月14日(土)～8月26日(日)
- ウ 会 場 吉野宿ふじや
- エ 来場者 509人
- オ 関連事業 ①宇宙関連イベント「天体観測会」※悪天候のため中止
日 時 7月28日(土)
場 所 藤野中学校校庭
②炭焼き関連イベント講話「山仕事」
日 時 8月4日(土)
講 師 三宅 岳(山岳写真家)
参加人数 35人

③ 吉野宿ふじや 「甲州道中(相模湖・藤野・上野原)見どころ展」

- ア 内 容 甲州道中のうち、特に相模湖・藤野・上野原の名所・旧跡などの見どころを、写真や文献などで紹介した。
- イ 期 間 10月20日(土)～12月2日(日)
- ウ 会 場 吉野宿ふじや
- エ 来場者 579人
- オ 関連事業 ①甲州街道を歩くー藤野駅から小原宿までー
内 容 郷土史家の案内解説を聞きながら探訪を行った。
日 時 11月10日(土)
集合場所 藤野駅
参加人数 17人
②ギャラリートーク
内 容 上野原市文化財保護委員長の長谷川孟さんが甲州道中の見どころをお話した。
日 時 11月24日(土)
会 場 吉野宿ふじや
参加人数 35人

④ 吉野宿ふじや 「甲州道中のおひな様」展

- ア 内 容 ひな人形の展示とともに、各地域のひな祭りを写真などで紹介した。
- イ 期 間 平成31年2月16日(土)～3月24日(日)

ウ 会 場 吉野宿ふじや

エ 来場者 延べ 483 人

オ 関連事業 「紙の雛人形づくり体験」

日 時 平成 31 年 2 月 17 日・24 日、3 月 3 日・17 日の日曜日

参加人数 延べ 107 人

3 入館者数一覧

(1) 尾崎琴堂記念館

	利用人数 (人)	開館日数 (日)	1 日平均 (人)
26 年度	1, 593	295	5.4
27 年度	1, 571	298	5.3
28 年度	1, 859	302	6.2
29 年度	1, 559	305	5.1
30 年度	1, 738	306	5.7
合 計	8, 320	1, 506	5.5

(2) 吉野宿ふじや

	利用人数 (人)	開館日数 (日)	1 日平均 (人)
26 年度	3, 202	307	10.4
27 年度	3, 119	304	10.3
28 年度	3, 154	302	10.4
29 年度	1, 554	*1 115	13.5
30 年度	*2 2, 012	115	17.5
合 計	13, 041	1, 143	12.4

*1 平成 29 年 4 月から土・日曜・祝日のみ開館

*2 団体及び企画展による平日の利用人数を含めると 3, 689 人／240 日

Ⅷ 博物館略年表

年 月	事 項
昭和 5 5 年 4 月	「キャンプ淵野辺留保地整備計画」に建設の検討が盛り込まれる
昭和 5 6 年 4 月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和 5 6 年 6 月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和 5 6 年 1 0 月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和 5 8 年 2 月	(仮称) 相模原市立博物館基本構想策定
昭和 5 8 年 6 月	展示専門委員会の設置
昭和 5 9 年 3 月	博物館展示基本計画の策定
平成 2 年 1 1 月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称) 相模原市立博物館建設基本計画策定
平成 3 年 4 月	博物館建設事務所設置
平成 3 年 5 月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成 3 年 7 月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成 3 年 8 月	建築設計者の決定 博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成 3 年 9 月	建築基本設計着手
平成 4 年 1 月	建設用地の取得 展示プロポーザル提案図書の提出
平成 4 年 2 月	展示設計・施工候補者選考委員会設置 展示設計・施工者の決定
平成 4 年 5 月	建設実施設計及び展示実施設計着手 プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成 5 年 6 月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成 6 年 8 月	天体観測機器設置工事契約
平成 7 年 3 月	相模原市立博物館条例制定 登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第 3 2 号)
平成 7 年 7 月	博物館建設工事竣工
平成 7 年 1 0 月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
平成 7 年 11 月 20 日 開館	
平成 8 年 1 月	天体観測室と観測テラスで「星空観望会」を開始
平成 8 年 5 月	入館者 1 0 万人達成記念式典(5 月 1 9 日)
平成 8 年 1 0 月	平成 8 年度第 4 1 回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞

平成 9 年 4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始
平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第 2 駐車場（50 台収容）が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	1997 年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 10 月	平成 9 年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 11 月	平成 9 年度第 38 回建築業協会賞受賞
平成 11 年 11 月	11/21 入館者数 50 万人を超える
平成 12 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 16 年 1 月	1/18 入館者数 100 万人を超える
	入館者 100 万人達成セレモニー
平成 17 年 1 月	企画展示として「学習資料展」を開始
平成 17 年 4 月	市立博物館シンボルマークを制定
平成 17 年 10 月	開館 10 周年記念特別展「博物館 10 年の歩み」を実施
平成 22 年 4 月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設（補助執行）
平成 22 年 7 月	小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを世界初公開 以後、毎年 JAXA 連携企画展を開催
平成 23 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 23 年 5 月	博物館周辺の動植物を観察するミニ観察会を開始（現在は「生きもののミニサロン」として実施）
平成 23 年 7 月	市内小中学校の教材利用として博物館資料の「貸出しキット」事業の開始
平成 23 年 8 月	8/28 入館者数 200 万人を超える
	入館者 200 万人達成セレモニー
平成 23 年 11 月	ボランティアや中高生の部活動の発表の場として「学びの収穫祭」を開始
平成 24 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が 5 万人を超える
平成 25 年 4 月	研究者らを招き月 1 回、講演やワークショップを行う「さがみはら宇宙の日」を開始
平成 25 年 7 月	吉野宿ふじやリニューアルオープン 小惑星「イトカワ」の微粒子世界初公開
平成 25 年 8 月	市民協働事業で博物館と尾崎弔堂記念館に W i - F i 環境導入
平成 26 年 12 月	小惑星探査機「はやぶさ 2」打上げパブリックビューイングを開催

平成 27 年 3 月	吉野宿ふじや常設展示リニューアル
平成 27 年 6 月	6/20 入館者数 250 万人を超える
平成 27 年 11 月	相模原市立博物館開館 20 周年
平成 28 年 2 月	尾崎罌堂記念館常設展示リニューアル
平成 28 年 4 月	プラネタリウムの操作等業務を P P P で選考した業者と契約
平成 29 年 4 月	吉野宿ふじや活性化事業を公募型プロポーザル方式で選考した団体と契約
平成 29 年 11 月	当館学芸員によるリレートーク「学芸員講話」を開始
平成 31 年 2 月	小惑星探査機「はやぶさ 2」タッチダウン実況パブリックビューイングを開催
平成 31 年 3 月	3/19 入館者数 300 万人を超える
	来館者数 300 万人達成記念事業実施
平成 31 年 4 月	市史編さん班廃止



©T C

さがぼん



おびのっち

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館(以下「博物館」という。)を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。

(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(観覧料)

第3条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、プラネタリウム投影又は全天周映画を観覧しようとするときは、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 利用者は、特別な企画の展示が行われている場合において、当該展示に係る資料を観覧しようとするときは、教育委員会がその都度定める観覧料を納付しなければならない。

3 前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第4条 前条第1項及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(観覧料の不還付)

第5条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が、観覧料を納付した者の責めによらない理由により観覧することができないと認めるときは、この限りでない。

(利用の制限)

第6条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、その利用を制限し、又は中止させることができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

(2) 博物館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(3) 博物館の施設、設備、資料等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があると認められるとき。

(博物館資料の特別利用)

第7条 学術研究等のため、博物館資料(博物館に保管され、又は展示されている資料をいう。以下同じ。)の撮影、模写、模造その他の特別な利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(博物館資料の館外貸出し)

第8条 次に掲げるものは、博物館資料の館外貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けることができる。

(1) 国立の博物館、博物館法第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により博物館に相当する施設として指定されたもの

(2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校

(3) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館

(4) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館

(5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

2 館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(特別利用等の条件)

第9条 教育委員会は、博物館の管理上及び博物館資料の保全上必要と認める範囲内で、第7条又は前条第2項の承認に条件を付することができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(特別利用等の制限)

第10条 教育委員会は、次に掲げる博物館資料については、第7条又は第8条第2項の承認をしないものとする。

(1) 保全上支障があると認めるもの

(2) 寄託を受けたもので寄託者の承諾を得ていないもの

(3) 著作権のあるもので著作権者の承諾を得ていないもの

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が適当でないと認めるもの

(追加〔平成11年条例58号〕)

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、博物館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(販売行為等の禁止)

第12条 何人も、博物館において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(損害賠償)

第13条 博物館の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成11年条例58号〕)

(博物館協議会の設置)

第14条 博物館法第20条第1項の規定に基づき、博物館に相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

(定数)

第15条 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委員)

第16条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者
- (5) 市の住民

2 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会の委員は、再任されることができる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会長及び副会長)

第17条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会議)

第18条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(運営等)

第19条 第14条から前条までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委任)

第20条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

附 則

この条例は、公布の日から起算して9月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成7年規則第36号で平成7年11月20日から施行)

附 則(平成11年12月22日条例第58号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月27日条例第21号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

区分		単位	観覧料	
			大人	小人
プラネタリウム投影	個人	1回につき	500円	200円
	団体(20人以上)	1人1回につき	400円	160円
全天周映画	個人	1回につき	500円	200円
	団体(20人以上)	1人1回につき	400円	160円

備考

- 1 小人とは、小学校に就学するまでの4歳以上の者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者をいう。
- 2 4歳未満の者は、無料とする。

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立博物館条例(平成7年相模原市条例第13号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)
- (2) 休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)
- (3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

(一部改正〔平成27年教委規則15号〕)

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日等の周知)

第4条 教育委員会は、第2条第1項第4号の規定により休館日を定め、若しくは同条第2項の規定により休館日を開館日とするとき又は前条第2項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を告示する等市民への周知を図るものとする。

(観覧券の交付)

第5条 教育委員会は、条例第3条第1項の観覧料を納付した者にプラネタリウム投影等観覧券(第1号様式)を、同条第2項の観覧料を納付した者に特別展観覧券(第2号様式)を交付するものとする。

(観覧料の減免)

第6条 条例第4条の規定による観覧料の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 市内の学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)及び特別支援学校(高等部を除く。)の児童・生徒(それぞれの引率者を含む。)が、教育課程に基づく教育活動により観覧しようとするとき。 100パーセント
- (2) 市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園若しくは保育所又はこれらに準ずる施設が行う教育活動等により幼児(その引率者を含む。)が観覧しようとするとき。 50パーセント
- (3) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者が観覧しようとするとき。 100パーセント
- (4) 相模原市医療費助成条例施行規則(昭和49年相模原市規則第17号)第14条第1項第2号に規定するひとり親家庭等であることの証明書に記載されている者(これに準ずる市外在住の者を含む。)が観覧しようとするとき。 100パーセント
- (5) 65歳以上の者が観覧しようとするとき。 50パーセント

2 前項の規定により観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、博物館観覧料減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前項第3号、第4号又は第5号に該当するときは、申請書の提出を省略することができる。

3 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、観覧料を、減額し、又は免除するときは博物館観覧料減免決定通知書により、減額せず、又は免除しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成9年教委規則2号・11年10号・15年2号・17年3号・20号・19年29号・21年7号・24年9号・26年20号・27年15号・28年10号・30年12号〕)

(観覧料の還付手続)

第7条 条例第5条ただし書の規定により観覧料の還付を受けようとする者は、その旨及び観覧することができない理由を記載した書面にプラネタリウム投影等観覧券又は特別展観覧券を添え、教育委員会に提出しなければならない。

(特別利用の手続)

第8条 条例第7条の規定により特別利用の承認を受けようとする者は、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その特別利用を、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請した者に通知するものとする。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号〕)

(館外貸出しの手続)

第9条 条例第8条第2項の規定により館外貸出しの承認を受けようとするものは、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その館外貸出しを、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請したものに通知するものとする。

- 3 館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、当該期間を延長することができる。

- 4 教育委員会は、必要があるときは、館外貸出しの期間中であっても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・26年20号〕)

(博物館資料の複写)

第10条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、別に定めるところにより、博物館資料の複写をすることができる。ただし、技術上複写をすることが困難なものその他教育委員会が適当でないと認める博物館資料については、この限りでない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(遵守事項)

第11条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許可なく動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。))を除く。)又は危険若しくは不潔な物品を持ち込まないこと。

- (2) 博物館資料(第9条第2項の承認を受けたものを除く。)又は博物館の器具等を博物館外に持ち出さないこと。

- (3) 指定された場所以外の場所で飲食し、又は喫煙しないこと。

- (4) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

- (5) 博物館の職員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・14年19号〕)

(損傷等の届出)

第12条 博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失させた者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(協議会の庶務)

第13条 相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の庶務は、博物館で処理する。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号〕)

(協議会会長への委任)

第14条 前条に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号〕)

(様式)

第15条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成19年教委規則29号〕、一部改正〔平成24年教委規則9号・26年20号〕)

(委任)

第16条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号・24年9号・27年15号〕)

附 則

この規則は、平成7年11月20日から施行する。

附 則(平成9年1月16日教委規則第2号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月31日教委規則第10号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教委規則第18号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年10月1日教委規則第19号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成15年3月14日教委規則第2号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年3月31日教委規則第3号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成17年7月29日教委規則第20号)

この規則は、平成18年4月1日から施行し、同日以後に行う観覧料の減免について適用する。

附 則(平成19年3月30日教委規則第29号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年4月1日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年3月30日教委規則第9号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年9月30日教委規則第20号)

この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附 則(平成27年3月30日教委規則第15号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月28日教委規則第10号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成30年9月28日教委規則第12号)

この規則は、平成30年10月1日から施行する。

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立尾崎^{がく} 号 堂記念館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
(設置)

第2条 ^{がく} 号 堂尾崎行雄の生誕地の屋敷跡を保存し、ゆかりの文献、遺品その他の資料を展示するとともに、青少年の勉学^{がく}の場とし、その健全な育成に寄与するため、相模原市立尾崎^{がく} 号 堂記念館(以下「記念館」という。)を相模原市緑区又野691番地に設置する。
(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(利用の承認)

第3条 記念館を利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。承認された事項の変更をしようとするときも、同様とする。

2 教育委員会は、記念館の管理上必要と認める範囲内で、前項の承認に条件を付することができる。

(利用の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前条第1項の利用の承認をしないものとする。

- (1) 記念館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 記念館の施設、器具等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、記念館の管理上支障があると認められるとき。

(利用承認の取消し等)

第5条 教育委員会は、第3条の規定による利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。))が、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは中止させることができる。この場合において、教育委員会はこれらの処分によって生じた損害の責めを負わない。

- (1) 利用者が第3条第2項の規定による利用の承認の条件に違反したとき。
- (2) 利用の申請に虚偽又は不正があったとき。
- (3) 前条各号のいずれかに該当するに至ったとき。
- (4) 災害その他やむを得ない理由により教育委員会が必要と認めたとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。))が、この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

(権利譲渡等の禁止)

第6条 利用者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別な設備等の承認)

第7条 利用者は、特別な設備を施し、又は特別な器具等を使用するときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、記念館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(販売行為等の禁止)

第9条 何人も、記念館の敷地内において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、あらかじめ教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(原状回復の義務)

第10条 利用者は、記念館の利用を終了したとき、又は第5条の規定により利用の承認を取り消され、利用の制限を受け、若しくは利用を中止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 利用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会がこれを執行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

(損害賠償)

第11条 記念館の施設等及び展示品等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第12条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月20日から施行する。

(津久井町の編入に伴う経過措置)

- 2 この条例の施行の日前に旧津久井町立尾崎罌堂記念館の設置及び管理に関する条例(昭和55年津久井町条例第18号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立尾崎^{がく} 堂記念館条例(平成17年相模原市条例第165号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立尾崎^{がく} 堂記念館(以下「記念館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)
 - (2) 休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)
 - (3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日
- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。
- 3 教育委員会は、第1項第4号の規定により休館日を定め、又は前項の規定により休館日を開館日とするときは、あらかじめその旨を告示等により市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(利用できる時間及び受付時間)

第3条 記念館を利用できる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

2 記念館の利用に係る申請の受付時間は、開館日の午前9時から午後4時30分までとする。

(利用承認申請手続)

第4条 条例第3条第1項の規定により承認を受けようとする者(承認された事項を変更しようとする者を除く。以下「利用申請者」という。)は、相模原市立尾崎^{がく} 堂記念館利用承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、資料室の観覧の申請にあっては、口頭で行うものとする。

2 前項の申請書は、利用しようとする日の2日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(利用の承認等)

第5条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請書の提出があった場合において、その利用を、承認するときは相模原市立尾崎^{がく} 堂記念館利用承認通知書(以下「利用承認通知書」という。)により、承認しないときはその旨を利用申請者に通知するものとする。ただし、前条第1項ただし書の規定により口頭でなされた申請に対する承認又は承認しない旨の通知は、口頭で行うものとする。

2 前項本文の規定による利用の承認は、申請の順序に従って行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、公用又は公共のため、教育委員会が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

3 利用承認通知書により利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、利用の際、利用承認通知書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(利用の取消し及び承認事項変更の手続)

第6条 利用者は、記念館の利用の取消し又は承認された事項の変更をしようとするときは、相模原市立尾崎^{がく} 堂記念館利用承認取消(変更)申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、利用の取消し又は承認事項の変更を、承認するときは相模原市立尾崎^{がく} 堂利用承認取消(変更)決定通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(特別な設備等の承認手続)

第7条 条例第7条の規定により特別な設備等の承認を受けようとする者は、相模原市立尾崎^{がく} 堂記念館特別設備等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その特別な設備等を、承認するときは相模原市立尾崎^{がく} 堂記念館特別設備等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(販売行為等の許可手続)

第8条 条例第9条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとする者は、相模原市立尾崎^{がく} 堂記念館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可するときは相模原市立尾崎^{がく} 堂記念館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(遵守事項)

第9条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 承認された以外の施設、器具等を利用しないこと。
- (2) 許可なく建物等に張り紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。
- (3) 許可なく火気を使用しないこと。
- (4) 許可なく記念館の器具等を所定の保管場所以外へ移動させないこと。
- (5) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたもの)に限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (6) 許可なく所定の場所以外の場所で、飲食し、又は喫煙しないこと。
- (7) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (8) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(職務上の立入り)

第10条 教育委員会は、記念館の管理上必要と認めたときは、係員を利用の承認をしている施設に立ち入らせることができる。この場合において、利用者は、当該係員の立入りを拒むことはできない。

(損傷等の届出)

第11条 記念館の施設、器具等を損傷し、又は滅失した者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第12条 利用者は、記念館の利用を終了したときは、直ちに係員にその旨を告げ、点検を受けなければならない。

(様式)

第13条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成27年教委規則1号〕)

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、記念館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

附 則

1 この規則は、平成18年3月20日から施行する。

2 この規則の施行の際現に旧津久井町立尾崎^{がく} 堂記念館の設置及び管理に関する条例施行規則(昭和55年津久井町教育委員会規則第3号)の規定により定められた様式の用紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成27年1月13日教委規則第1号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(趣旨)

第1条 この告示は、相模原市緑区吉野214番地に所在する吉野宿ふじやの適正な保存及び活用を図るため、その管理について必要な事項を定めるものとする。

(観覧日)

第2条 吉野宿ふじやの観覧ができる日(以下「観覧日」という。)は、日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日とする。ただし、次に掲げる日を除く。

- (1) 12月28日から翌年の1月3日までの日
- (2) 前号に掲げる日のほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、観覧ができない日を観覧日とすることができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(団体利用の特例)

第3条 前条に規定する観覧日のほか、10人以上の団体から観覧の申込みがあった場合で教育委員会が認めたときは、観覧ができない日であっても観覧させることができる。

(追加〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができる時間)

第4条 吉野宿ふじやの観覧ができる時間は、午前10時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができない日等の周知)

第5条 教育委員会は、第2条第1項第2号の規定により観覧ができない日を定め、若しくは同条第2項の規定により観覧ができない日を観覧日とするとき又は前条ただし書の規定により観覧ができる時間を変更するときは、あらかじめその旨を市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧に係る料金)

第6条 吉野宿ふじやの観覧に係る料金は、無料とする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧の制限)

第7条 教育委員会は、吉野宿ふじやの管理上適当でないと認められる者があるときは、その観覧を制限することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(遵守事項)

第8条 吉野宿ふじやを観覧する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、資料等を損傷し、又は汚損しないこと。
- (2) 許可なく火気を使用しないこと。
- (3) 許可なく飲食又は喫煙をしないこと。
- (4) 許可なく物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしないこと。
- (5) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (6) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (7) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、吉野宿ふじやの管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

附 則(平成29年4月1日教委告示第5号)

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

発行日	平成31年4月1日 相模原市立博物館
住 所	〒252-0221 相模原市中央区高根3-1-15
TEL	042-750-8030
FAX	042-750-8061
e-mail	hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
URL	http://sagamiharacitymuseum.jp/